

厚生労働大臣

殿

国立大学法人千葉大学長  
徳久剛史 (印)

千葉大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
氏 名	国立大学法人千葉大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

千葉大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒260-8677 千葉市中央区亥鼻 1 - 8 - 1	電話(043)222-7171
------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 神経内科 2 アレルギー科 3 4 5 6 7	
8 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無					
外科と組み合わせた診療科名						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		⑮麻酔科	⑯救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無					
歯科と組み合わせた診療科名						
1	2	3	4	5	6	7
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
呼吸器科	心療内科	リハビリテーション科	循環器科	形成外科	病理診断科								
7	8	9	10	11	12	13	14						
15	16	17	18	19	20	21							

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
45 床	5 床	0 床	0 床	800 床	850 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	238 人	474 人	577.7 人	看護補助者	93 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	8 人	23 人	25.9 人	理学療法士	25 人	臨床検査技師	79 人
薬 剤 師	53 人	18 人	67.5 人	作業療法士	10 人	衛生検査技師	0 人
保 健 師	0 人	0 人	0.0 人	視能訓練士	7 人	その他	0 人
助産師	41 人	0 人	41.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	1 人
看護師	903 人	41 人	937.6 人	臨床工学士	17 人	医療社会事業従事者	11 人
准看護師	1 人	2 人	3.0 人	栄 養 士	1 人	その他の技術員	76 人
歯科衛生士	1 人	3 人	3.7 人	歯科技工士	0 人	事務職員	329 人
管理栄養士	8 人	6 人	14.0 人	診療放射線技師	49 人	その他の職員	41 人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成28年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	37 人	眼 科 専 門 医	14 人
外 科 専 門 医	70 人	耳鼻咽喉科専門医	15 人
精神科専門医	6 人	放射線科専門医	12 人
小児科専門医	16 人	脳神経外科専門医	10 人
皮膚科専門医	7 人	整形外科専門医	17 人
泌尿器科専門医	12 人	麻酔科専門医	16 人
産婦人科専門医	20 人	救急科専門医	10 人
		合 計	262 人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (山本 修一) 任命年月日 平成26年4月1日

医療の質・安全管理委員会委員長 (平成26年4月1日～)

--

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	653人	12人	665人
1日当たり平均外来患者数	2052人	82人	2134人
1日当たり平均調剤数	入院：846剤 外来：43剤		
必要医師数			184人
必要歯科医師数			6人
必要薬剤師数			22人
必要（准）看護師数			404人

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備	概要		
集中治療室	374.75m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	22床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 435m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 2台		病床数	34床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 85.71m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	403 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	検体搬送システム、生化学用自動分析装置、化学発光法測定装置、酸素免疫法測定装置、Hb A1c分析装置、赤血球沈降速度分析装置、電気泳動分析装置、超低温保冷庫(ディープフリーザー)		
細菌検査室	80 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	細菌同定・薬剤感受性分析装置、抗酸菌培養検査装置、自動染色装置、血液培養自動分析装置、細菌同定用質量分析装置、顕微鏡(蛍光を含む)、安全キャビネット		
病理検査室	137 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動包埋装置、組織切片薄切装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、凍結切片薄切装置、パラフィン包埋機		
病理解剖室	74 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、切出台、固定槽、撮影装置		
研究室	718 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン、近赤外光イメージング装置、脳波計		
講義室	736.01m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	4室	収容定員	504人
図書室	147 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	5室	蔵書数	19,350冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	85.3%	逆紹介率	69.6%
算出根拠	A：紹介患者の数	19476人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17092人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1461人	
	D：初診の患者の数	24547人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	34	56	ベーチェット病	340
2	筋萎縮性側索硬化症	74	57	特発性拡張型心筋症	191
3	脊髄性筋萎縮症	33	58	肥大型心筋症	219
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	44	60	再生不良性貧血	153
6	パーキンソン病	599	61	自己免疫性溶血性貧血	75
7	大脳皮質基底核変性症	22	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	8
8	ハンチントン病	12	63	特発性血小板減少性紫斑病	321
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	14
10	シャルコー・マリー・トゥース病	37	65	原発性免疫不全症候群	37
11	重症筋無力症	485	66	IgA腎症	75
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	9
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	466	68	黄色靱帯骨化症	76
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	127	69	後縦靱帯骨化症	466
15	封入体筋炎	15	70	広範脊柱管狭窄症	12
16	クドウ・深瀬症候群	52	71	特発性大腿骨頭壊死症	67
17	多系統萎縮症	46	72	下垂体性ADH分泌異常症	150
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	217	73	下垂体性TSH分泌亢進症	5
19	ライソゾーム病	19	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	5	75	クッシング病	39
21	ミトコンドリア病	11	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	14
22	もやもや病	63	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	119
23	プリオン病	4	78	下垂体前葉機能低下症	316
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	268
25	進行性多巣性白質脳症	5	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	146	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	11
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	-
28	全身性アミロイドーシス	9	83	アジソン病	16
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	939
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	313
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	217
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	149
34	神経線維腫症	63	89	リンパ脈管筋腫症	12
35	天疱瘡	100	90	網膜色素変性症	925
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	8
37	膿疱性乾癬(汎発型)	36	92	特発性門脈圧亢進症	23
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	16	93	原発性胆汁性肝硬変	390
39	中毒性表皮壊死症	2	94	原発性硬化性胆管炎	46
40	高安動脈炎	92	95	自己免疫性肝炎	409
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	341
42	結節性多発動脈炎	82	97	潰瘍性大腸炎	752
43	顕微鏡的多発血管炎	167	98	好酸球性消化管疾患	42
44	多発血管炎性肉芽腫症	0	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	0	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	103	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	179	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	7	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	1281	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	333	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	406	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	213	107	全身型若年性特発性関節炎	5
53	シェーグレン症候群	1354	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	27	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	17	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	11	161	家族性良性慢性天疱瘡	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	1	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	103
113	筋ジストロフィー	93	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	164	眼皮皮膚白皮症	4
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	68	167	マルファン症候群	29
118	脊髄髄膜瘤	9	168	エーラス・ダンロス症候群	11
119	アイザックス症候群	6	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	12
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	4
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	4
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	15
132	先天性核上性球麻痺	-	182	アペール症候群	5
133	メビウス症候群	1	183	ファイファー症候群	3
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	1	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	1	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	-	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	4	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	1	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	-	191	ウェルナー症候群	10
142	ミオクロニー欠神てんかん	-	192	コケイン症候群	2
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193	プラダー・ウィリ症候群	4
144	レノックス・ガストー症候群	8	194	ソス症候群	1
145	ウエスト症候群	26	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	-	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	-	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	6
152	PCDH19関連症候群	-	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	-	203	22q11.2欠失症候群	3
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	-	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	2	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	4	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	8	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	19	208	修正大血管転位症	1
159	色素性乾皮症	4	209	完全大血管転位症	3
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	4	260	シトステロール血症	-
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	2
215	ファロー四徴症	17	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	4	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	19
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	65	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	13
222	一次性ネフローゼ症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	6	271	強直性脊椎炎	26
224	紫斑病性腎炎	12	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	16
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	21	276	軟骨無形成症	8
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	13	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	4
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	368	283	後天性赤芽球癆	4
236	偽性副甲状腺機能低下症	22	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	17	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	3	288	自己免疫性出血病XIII	2
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	6
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	43
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	12	294	先天性横隔膜ヘルニア	9
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	-
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	14
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	29
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	-
257	肝型糖原病	5	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	13

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	退院支援加算 2
歯科外来診療環境体制加算	精神疾患診療体制加算
歯科診療特別対応連携加算	特定集中治療室管理料 4 特定集中治療室管理料 小児加算
特定機能病院入院基本料 一般病棟 7対1入院基本料	新生児特定集中治療室管理料 1
特定機能病院入院基本料 精神病棟 13対1入院基本料	新生児治療回復室入院医療管理料
超急性期脳卒中加算	小児入院医療管理料 2 小児入院医療管理料 注2の加算 (プレイルーム加算)
診療録管理体制加算 1	
医師事務作業補助体制加算 1 (100対1)	<b>施設基準を満たしていれば届出の必要がない項目</b>
25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割以上)	臨床研修病院入院診療加算 (歯科診療以外)
看護職員夜間12対1配置加算 2	臨床研修病院入院診療加算 (歯科診療に限る)
看護補助加算 2	救急医療管理加算
療養環境加算	妊産婦緊急搬送入院加算
重症者等療養環境特別加算	乳幼児加算・幼児加算
無菌治療室管理加算1	超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算
無菌治療室管理加算2	小児療養環境特別加算
緩和ケア診療加算	がん診療連携拠点病院加算
精神科身体合併症管理加算	
摂食障害入院医療管理加算	
医療安全対策加算 1	
感染防止対策加算1 感染防止対策地域連携加算	
患者サポート体制充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	
総合評価加算	
データ提出加算2(イ)	

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.1

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料 注2の加算	国際標準検査管理加算
高度難聴指導管理料	遺伝カウンセリング加算
糖尿病合併症管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
がん性疼痛緩和指導管理料	時間内歩行試験 シャトルウォーキングテスト
がん患者指導管理料1	胎児心エコー法
がん患者指導管理料2	ヘッドアップティルト試験
がん患者指導管理料3	人工臓臓検査 人工臓臓療法
外来緩和ケア管理料	長期継続頭蓋内脳波検査
移植後患者指導管理料 1. 臓器移植後の場合	神経学的検査
移植後患者指導管理料 2. 造血幹細胞移植後の場合	補聴器適合検査
糖尿病透析予防指導管理料	ロービジョン検査判断料
外来放射線照射診療料	コンタクトレンズ検査料1
ニコチン依存症管理料	小児食物アレルギー負荷検査
がん治療連携計画策定料	内服・点滴誘発試験
肝炎インターフェロン治療計画料	センチネルリンパ節生検(併用法) 乳がんセンチネルリンパ節加算1
薬剤管理指導料	センチネルリンパ節生検(単独法) 乳がんセンチネルリンパ節加算2
医療機器安全管理料1	C T透視下気管支鏡検査加算
医療機器安全管理料2	画像診断管理加算1
歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	遠隔画像診断
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	ポジトロン断層撮影
持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
在宅患者歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	CT撮影及びMRI撮影 (CT 6件、MRI 5件)
遺伝学的検査	冠動脈CT撮影加算
H P V核酸検出	心臓MRI撮影加算
H P V核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	乳房MRI撮影加算
検体検査管理加算(Ⅰ)	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
検体検査管理加算(Ⅳ)	外来化学療法加算1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.2

施設基準の種類	施設基準の種類
無菌製剤処理料	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術
心大血管疾患リハビリテーション料(I) 心大血管疾患リハビリテーション料 初期加算	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
脳血管疾患等リハビリテーション料(I) 脳血管疾患等リハビリテーション料 初期加算	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
運動器リハビリテーション料(I) 運動器リハビリテーション料 初期加算	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
呼吸器リハビリテーション料(I) 呼吸器リハビリテーション料 初期加算	網膜再建術
がん患者リハビリテーション料	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
歯科口腔リハビリテーション料2	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)
認知療法・認知行動療法1	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る) (歯科診療に係るものに限る)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る) (歯科診療に係るものに限る)
認知療法・認知行動療法2	乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料)	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
医療保護入院等診療料	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの))
処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	同種死体肺移植術
処置の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1(歯科)	生体部分肺移植術
硬膜外自家血注入	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)(高速回転式アテレクトミーカテーテルによるもの)
エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	経皮的中隔心筋焼灼術
エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術
透析液水質確保加算2	両心室ペースメーカー移植術及び 両心室ペースメーカー交換術
磁気による膀胱等刺激法	植込型除細動器移植術及び 植込型除細動器交換術及び 経静脈電極除去術
CAD/CAM冠	両室ベージング機能付き植込型除細動器移植術及び 両室ベージング機能付き植込型除細動器交換術
悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る)	補助人工心臓
骨移植術(軟骨移植術を含む)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る)))	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
骨移植術(軟骨移植を含む) (自家培養軟骨移植術に限る)	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
腫瘍脊椎骨全摘術	胃瘻造設術
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る)	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.3

施設基準の種類	施設基準の種類
体外衝撃波胆石破碎術	外来放射線治療加算
腹腔鏡下肝切除術	高エネルギー放射線治療
生体部分肝移植術	1回線量増加加算
同種死体肝移植術	強度変調放射線治療 (IMRT)
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	画像誘導放射線治療 (IGRT)
腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術	体外照射呼吸性移動対策加算
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	直線加速器による定位放射線治療
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	定位放射線治療呼吸移動対策加算 (その他のもの)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	画像誘導密封小線源治療加算
同種死体腎移植術	病理診断管理加算2
生体腎移植術	口腔病理診断管理加算2
膀胱水圧拡張術	クラウン・ブリッジ維持管理料
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	
人工尿道括約筋植込・置換術	<b>施設基準を満たしていれば届出の必要がない項目</b>
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	悪性腫瘍特異物質治療管理料
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	小児特定疾患カウンセリング料
手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1	小児科療養指導料
手術の休日加算1、時間外加算1及び深夜加算1 (歯科)	外来栄養食事指導料
輸血管理料 I	入院栄養食事指導料
貯血式自己血輸血管理体制加算	集団栄養食事指導料
自己生体組織接着剤作成術	心臓ペースメーカー指導管理料 (植込型除細動器移行期加算)
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	小児悪性腫瘍患者指導管理料
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	乳幼児育児栄養指導料
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	夜間休日救急搬送医学管理料
麻酔管理料 (I)	外来リハビリテーション診療料
麻酔管理料 (II)	生活習慣病管理料
放射線治療専任加算	がん治療連携管理料

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

NO.4

施設基準の種類	施設基準の種類
認知症専門診断管理料	母指化手術等
造血器腫瘍遺伝子検査	内反足手術等
植込型心電図検査	食道切除再建術等
大腸CT撮影加算	同種腎移植術等
廃用症候群リハビリテーション料 (I)	胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術 (通則4に掲げる手術を除く)
児童思春期精神科専門管理加算	ペースメーカー移植術
一酸化窒素吸入療法 (新生児の低酸素性呼吸困難に対して実施するものに限る)	ペースメーカー交換術
経皮的冠動脈形成術	経皮的冠動脈形成術
経皮的冠動脈ステント留置術	経皮的冠動脈粥腫切除術
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	経皮的冠動脈ステント留置術
経皮的動脈遮断術	人工関節置換術
ダメージコントロール手術	乳児外科対象手術
頭蓋内腫瘍摘出術等	冠動脈及び大動脈バイパス移植術並びに体外循環を要する手術
黄斑下手術等	
鼓室形成手術等	
肺悪性腫瘍手術等	
経皮的カテーテル心筋焼灼術	
靭帯断裂形成手術等	
水頭症手術等	
鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	
尿道形成手術等	
角膜移植術	
肝切除術等	
子宮附属器悪性腫瘍手術等	
上顎骨形成術等	
上顎骨悪性腫瘍手術等	
パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心筋前駆細胞移植床による新生心筋の起源と分化・分裂・増殖因子の網羅的解析	永井 敏雄	循環器内科学	3,120,000	補 文部科学省
次世代シーケンサーを用いた重症心不全における左室逆リモデリング予測因子の探索	小林 欣夫	循環器内科学	3,380,000	補 日本学術振興会
遺伝子導入血小板を用いた新規血管再生治療の開発	舘野 馨	循環器内科	2,318,244	補 日本学術振興会
冠動脈疾患におけるブラック進展マーカーとしての中心血圧日内変動の有用性の検討	岡田 将	循環器内科学	1,000,000	補 大和証券ヘルス財団(公財)
トレーサビリティの確保された線源と画像誘導を利用した高線量率小線源治療の標準化と高度化の研究	宇野 隆	放射線科	400,000	委 国立がん研究センター
質の高い放射線治療の普及と均てん化のための基盤研究	宇野 隆	放射線科	400,000	補 国立がん研究センター
がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の運用と他がん登録との連携	宇野 隆	放射線科	50,000	補 厚生労働省
放射線被曝に由来するDNA過酸化物質・染色体の解析と抗酸化物質による予防法の開発	宇野 隆	放射線科	1,430,000	補 文部科学省
子宮頸癌腔内照射における患者の苦痛を軽減し本邦の現状に即した麻酔法の開発と普及	根本 未歩	放射線科	780,000	補 文部科学省
4次元MRI画像から低ひばくの仮想4次元CTを作成する新たな画像融合技術の開発	滝嶋 葉月	放射線科	2,080,000	補 文部科学省
高精度放射線治療を用いた子宮頸癌根治的放射線治療の至適線量スケジューリングの開発	宇野 隆	放射線科	50,000	補 文部科学省
脊柱人体骨化症に関する調査研究	国府田正雄	整形外科	300,000	補 厚生労働省
腰椎疾患に対する効果的なサイトカイン療法	大鳥精司	整形外科	2,100,000	補 文部科学省
慢性運動器疼痛のイメージング法の開発	高橋和久	整形外科	1,500,000	補 文部科学省
動的因子を再現したラット圧迫性脊髄症モデルの開発	古矢丈雄	整形外科	500,000	補 文部科学省
大腿骨頭壊死症における痛みの可視化	中村順一	整形外科	809,343	補 文部科学省
凍結乾燥血小板血漿を配合した新規人工骨	折田純久	整形外科	1,836,738	補 文部科学省
筋損傷に対するノイロトロピンの筋修復促進	大鳥精司	整形外科	2,160,000	補 日本臓器製薬
骨粗鬆症、サルコペニア由来の慢性疼痛	大鳥精司	整形外科	7,099,781	補 日本整形外科学会
成長因子アンカーリング型運動器	大鳥精司	整形外科	350,000	補 文部科学省
閉経早期からの薬剤治療介入(SERM,ビタミンD)は筋内ビタミンD 受容体数減少と筋質低下を抑制する	稲毛一秀	整形外科	1500000	補 中富健康科学振興財団
ラット脳性麻痺モデルを使ったプロゲステロンの脳障害回避効果の検証と作用機序の解析	河原井麗正	婦人科	1,400,000	補 日本学術振興会
卵巣明細胞腺癌の発生機序と遺伝子変異の解明	錦見恭子	婦人科	300,000	補 ちば県民保健予防財団
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	山本 修一	眼科	100,000	委 厚生労働省
糖尿病網膜症における神経軸変性性の神経軸	忍足 俊幸	眼科	700,000	委 文部科学省
次世代シーケンサーを用いたわが国の網膜色素変性患者の遺伝子診断	山本 修一	眼科	100,000	委 文部科学省
ミューラー細胞におけるWRN遺伝子を介したアポトーシス制御機構	北橋 正康	眼科	1,881,431	委 文部科学省
去勢抵抗性前立腺癌における機能性RNAネットワークの解明と革新的診断治療シーズ	市川智彦	泌尿器科	17,550,000	補 日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌におけるFOXA1の機能解析と予後予測ノモグラムの構築	坂本信一	泌尿器科	5,070,000	補 日本学術振興会
尿流動態の3次元評価とナビゲーション開発	仲村和芳	泌尿器科	4,030,000	補 日本学術振興会

小計30

前立腺癌転移抑制型マイクロRNAが制御する細胞外マトリックス分子伝達機構の解明	西川里佳	泌尿器科	3,900,000	補	日本学術振興会
機能性RNA活性化シグナル遮断による虚勢抵抗性前立腺癌新規治療法の探索	五島悠介	泌尿器科	4,030,000	補	日本学術振興会
治療抵抗性前立腺癌患者の剖検検体を用いた全ゲノム機能性RNAネットワークの解析	五島悠介	泌尿器科	1,000,000	補	公益財団法人 双葉電子記念財団
去勢抵抗性前立腺癌克服に向けた全ゲノム機能性RNA解析	五島悠介	泌尿器科	500,000	補	一般社団法人 日本泌尿器科学会
機能性RNA解析に基づく前立腺肥大症特異的増殖シグナルの解明とその遮断分子経路による革新的治療法の開発	五島悠介	泌尿器科	2,000,000	補	日本学術振興会
3次元画像を用いた尿流動態可視化とメカニズムの解析	仲村和芳	泌尿器科	500,000	補	公益財団法人内 視鏡医学研究振興財団
免疫療法による花粉症治療の新しい展開を目指した研究	岡本 美孝(代表) 花澤 豊行(分担)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	24,700,000	委	日本医療研究開 発機構
重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略	岡本 美孝(分担)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	650,000	委	日本医療研究開 発機構
鼻粘膜を介したNKT細胞活性化による頭頸部癌に対するアジュバント療法の開発	岡本 美孝(代表) 櫻井 大樹(分担)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	3,000,000	補	文部科学省
EXILE法を用いた舌下免疫療法の機序解明と奏効性予測バイオマーカーの探索	岡本 美孝(分担)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	900,000	補	文部科学省
頭頸部扁平上皮癌におけるマイクロRNAを基点としたセツキシマブ効果予測因子の探索	花澤 豊行(代表)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	1,000,000	補	文部科学省
頭頸部癌による腫瘍免疫抑制機構の解明と新規治療法の開発	櫻井 大樹(代表)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	1,200,000	補	文部科学省
唾液腺癌に対するCAR発現T細胞とNKT細胞の併用による養子免疫療法	國井 直樹(代表)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	1,200,000	補	文部科学省
リボソームとNKT細胞免疫系を用いたアレルギー性鼻炎の新規治療法	米倉 修二(代表)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	1,400,000	補	文部科学省
アレルギー性鼻炎に対する光線力学的新治療法の開発	鈴木 猛司(代表)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	1,600,000	補	文部科学省
頭頸部扁平上皮癌の新規血清マーカー開発	堅田 浩司(代表)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	2,860,000	補	文部科学省
腫瘍免疫の解析による頭頸部癌cetuximab療法の効果予測と効果増強因子の検索 研究課題	山崎 一樹(代表)	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,560,000	補	文部科学省
頭頸部癌転移抑制型マイクロRNAが制御する細胞外マトリックスシグナル機構の解明	福本 一郎(代表)	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,400,000	補	文部科学省
頭頸部癌患者に対するiNKT細胞療法、及び免疫療法の効果に影響する免疫応答の網羅的解析	岡本 美孝(代表)	耳鼻咽喉科・ 頭頸部腫瘍学	14,000	委	理化学研究所
アレルギー疾患対策に必要とされる疫学調査と疫学データベース作成に関する研究	下条直樹	小児科	150,000	補	厚生労働省
食物アレルギーの寛解誘導に関するmicroRNA とその転写後制御の解析	下条直樹	小児科	2,000,000	補	日本医療研究開 発機構
新生児からの皮膚および腸管環境の整備に基づく吸入アレルゲン感作・ぜん息・ぜん息発症の予防に関する研究	下条直樹	小児科	5,400,000	補	環境再生保全機 構
オミクス解析に基づくアレルギー発症機構の理解と制御基盤の構築	下条直樹	小児科	8,826,400	補	日本医療研究開 発機構
アレルギー疾患の全年齢にわたる継続的疫学調査体制の確立とそれによるアレルギーマーチの発症・悪化要因のコホート分析に関する研究	下条直樹	小児科	300,000	補	日本医療研究開 発機構
アトピー性皮膚炎・食物アレルギーの発症・経過と関連する皮膚・腸内細菌叢の解析	下条直樹	小児科	8,300,000	補	日本医療研究開 発機構
ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究－試薬からの希少疾病治療薬開発の試み－	藤井克則	小児科	2,000,000	補	日本医療研究開 発機構
乳幼児アトピー性皮膚炎の発症に関わるmicroRNA の解析	井上祐三朗	小児科	2,000,000	補	日本学術振興会
巨脳症－毛細血管奇形症候群におけるPI3K/AKT経路の網羅的解析とその制御	塩濱 直	小児科	1,700,000	補	日本学術振興会
古くて新しい革新的ADHD治療－チベピジン－	佐々木 剛	精神神経科	800,000	補	文部科学省
感覚ゲート機構不全に基づいた精神疾患の新規病態解析研究	橋本 佐	精神神経科	400,000	補	文部科学省

血液バイオマーカーを用いたうつ病と双極性障害の鑑別補助診断法の開発に関する研究	伊豫 雅臣	精神神経科	1,600,000	委	日本医療研究開発機構
精神科入院者の退院促進・地域定着のための多職種チームモデル“SACHICO”の開発と有用性検証	渡邊 博幸	社会精神保健教育研究センター	3,600,000	委	公益財団法人三菱財団
ギャンブル障害に対するプロナンセリン投与の効果に関するオープン試験	椎名 明大	社会精神保健教育研究センター	200,000	委	NPO法人依存学推進協議会
判例調査による責任能力判断に関する因子についての分析	椎名 明大	社会精神保健教育研究センター	400,000	委	一般財団法人司法協会
青年期の発達障害者に対するグループ認知行動療法の就労支援効果に関する検証	椎名 明大	社会精神保健教育研究センター	430,000	委	日本科学協会
遅発性ジストニアに対するドパミンD2/D3アゴニストの有効性に関するランダム化比較試験	金原 信久	社会精神保健教育研究センター	500,000	委	公益法人統合失調症研究会
児童生徒の情動行動に関する基礎的研究と教育実践に関する研究	清水 栄司	こどものこころの発達教育研究センター	989,360	補	文部科学省
定量的MRI解析、MRSを用いた児童思春期の強迫性障害、発達障害の脳機能研究	中川 彰子	こどものこころの発達教育研究センター	1,950,000	補	文部科学省
うつ病及び摂食障害の認知柔軟性を高める経頭蓋的脳刺激法に関する研究	中里 道子	こどものこころの発達教育研究センター	1,170,000	補	文部科学省
治療抵抗性うつ病に対する集団コンパッション・フォーカスト・セラピーの開発	浅野 憲一	こどものこころの発達教育研究センター	1,040,000	補	文部科学省
青年期を対象とした過敏性腸症候群に対する認知行動療法プログラムの開発	浅野 憲一	こどものこころの発達教育研究センター	896,087	補	文部科学省
注視点検出技術を活用した発達障がい診断システムの開発	清水 栄司	こどものこころの発達教育研究センター	2,600,000	委	日本医療研究開発機構
認知行動療法等の精神療法の科学的エビデンスに基づいた標準治療の開発と普及に関する研究	清水 栄司 中川 彰子	こどものこころの発達教育研究センター	1,000,000	補	厚生労働省
摂食障害の診療体制整備に関する研究	中里 道子	こどものこころの発達教育研究センター	600,000	補	厚生労働省
子どもの強迫性障害に対する認知行動療法の有効性に関する研究	中川 彰子	こどものこころの発達教育研究センター	300,000	補	メンタルヘルス岡本記念財団研究助成金
性暴力被害支援システムの構築－医療・民間支援団体・教育の融合－	清水 栄司	こどものこころの発達教育研究センター	360,000	補	文部科学省
カテニンを介したカドヘリン複合体ならびにWnt経路の制御による癌転移抑制剤の開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	10,790,000	補	文部科学省
KIF遺伝子群のタキサン系抗癌剤耐性に果たす役割の解明と耐性克服治療法の開発	丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外科	1,950,000	補	文部科学省
新規頭頸部癌分子標的治療薬セツキシマブの副作用軽減治療薬の開発	鶴澤 一弘	歯科・顎・口腔外科	2,080,000	補	文部科学省
口腔癌におけるlong non coding RNAの役割と臨床的意義の検討	椎葉 正史	歯科・顎・口腔外科	4,420,000	補	文部科学省
CD82によるWnt経路・細胞外基質の制御機構解明と癌転移抑制薬の開発	椎葉 正史	歯科・顎・口腔外科	1,950,000	補	文部科学省
脂肪由来幹細胞へのMyoD family 遺伝子導入による筋の再生	坂本 洋右	歯科・顎・口腔外科	1,560,000	補	文部科学省
唾液腺細胞の長期安定培養法を用いた唾液腺機能再生療法の開発	笠松 厚志	歯科・顎・口腔外科	2,080,000	補	文部科学省
細胞接着装置の産生量減少による癌転移機構の解明と制御薬の検索・同定	肥後 盛洋	歯科・顎・口腔外科	2,080,000	補	文部科学省
デコリンを用いたS-1術前補助化学療法の新規効果予測法の開発	中嶋 大	歯科・顎・口腔外科	1,300,000	補	文部科学省
エキソソームによるmicroRNAの細胞間輸送システムの解明	大和地 正信	歯科・顎・口腔外科	2,080,000	補	文部科学省
α5β3インテグリンを介した癌進展メカニズムの解明と増殖抑制薬の開発	皆川 康之	歯科・顎・口腔外科	1,690,000	補	文部科学省
新規頭頸部癌分子標的治療薬セツキシマブに対する耐性機構の解明と克服治療薬の開発	小河原 克訓	歯科・顎・口腔外科	5,720,000	補	文部科学省
閉塞時睡眠時無呼吸患者の全身麻酔覚醒・抜管方法に関する研究	磯野 史朗	麻酔科	3,200,000	補	文部科学省
睡眠時無呼吸患者の術前24時間血圧変動パターンと術後心機能	岡崎 純子	麻酔科	600,000	補	文部科学省

周術期せん妄と睡眠時間の関連について	孫 慶淑	麻酔科	1,800,000	補	文部科学省
小胞体化学シヤペロンによる吸入麻酔薬の神経毒性の制御	小見田 真理	麻酔科	1,600,000	補	文部科学省
呼吸困難の治療法と評価法に関する研究	八代 英子	麻酔科	700,000	補	文部科学省
マスク人工呼吸中の呼吸時流量制限のメカニズム研究	奥山 めぐみ	麻酔科	600,000	補	文部科学省
ICG-Liposomeを用いた脳腫瘍の新規免疫療法	岩立 康男	脳神経外科学	1,480,000	補	文部科学省
背景肺異常を有する肺癌の早期発見を目指した新たなスクリーニング方法の開発	中島崇裕	呼吸器外科	1,400,000	委	ちば県民保健予防財団
呼吸不全に関する調査研究	巽浩一郎	呼吸器内科	11,613,000	補	厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	田邊信宏	呼吸器内科	100,000	補	厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	多田裕司	呼吸器内科	100,000	補	厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	坂尾誠一郎	呼吸器内科	100,000	補	厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	津島健司	呼吸器内科	100,000	補	厚生労働省
呼吸不全に関する調査研究	寺田二郎	呼吸器内科	100,000	補	厚生労働省
重症肺高血圧症に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究	巽浩一郎	呼吸器内科	8,140,000	委	日本医療研究開発機構
官民共同による重篤副作用バイオマーカー開発	巽浩一郎	呼吸器内科	3,870,000	委	日本医療研究開発機構
自己免疫性肺胞蛋白症に対する酵母由来組換えGM-CSF吸入の多施設共同医師主導治験	津島健司	呼吸器内科	769,231	委	日本医療研究開発機構
肺胞蛋白症、遺伝性間質性肺疾患に関する研究:重症難治化要因とその克服	巽浩一郎	呼吸器内科	250,000	委	日本医療研究開発機構
肺高血圧症の肺血管病変をターゲットとしたバイオマーカーの開発と遺伝子的素因の解析	田邊信宏	呼吸器内科	1,100,000	補	日本学術振興会
肺動静瘻に対するカテーテル治療の改良と遺伝子解析	笠原靖紀	呼吸器内科	1,000,000	補	日本学術振興会
肺高血圧症ラット肺移植モデルによる治療抵抗性血管病変の病態解明及び創薬シーズ探索	坂尾誠一郎	呼吸器内科	1,800,000	補	日本学術振興会
肺高血圧症の肺血管病変をターゲットとしたバイオマーカーの開発と遺伝子的素因の解析	寺田二郎	呼吸器内科	626,781	補	日本学術振興会
COPD肺線維芽細胞における細胞外マイクロRNAの分泌機構およびその機能の解析	伊狩潤	呼吸器内科	1,500,000	補	日本学術振興会
慢性血栓塞栓性肺高血圧症の血栓作成/内皮障害におけるIFN $\gamma$ の関与と病態の解明	重田文子	呼吸器内科	1,200,000	補	文部科学省
大学の特色に適応可能な結核検診マトリックスの作成	潤間励子	呼吸器内科	1,979,000	補	日本学術振興会
大学の特色に適応可能な結核検診マトリックスの作成	巽浩一郎	呼吸器内科	25,000	補	日本学術振興会
肺腫瘍臨床研究	巽浩一郎	呼吸器内科	100,000	補	放射線医学総合研究所
慢性閉塞性肺疾患と骨粗鬆症に関する調査研究	多田裕司	呼吸器内科	2,650,000	委	ちば県民保健予防財団研究助成事業
小児呼吸器形成異常・低形成疾患に関する実態調査ならびに診療ガイドライン作成に関する研究	吉田英生(分担)	小児外科	120,000	補	厚生労働省
ヒトCD133陽性神経芽腫幹細胞を標的とした新規治療法の開発	吉田英生	小児外科	1,400,000	補	文部科学省
胆道閉鎖症における制御性T細胞のsubpopulation解析	齋藤 武	小児外科	1,300,000	補	文部科学省
直腸肛門奇形モデルマウスを使用した肛門形成シグナルの探究	中田光政	小児外科	600,000	補	文部科学省

次世シーケンサーを用いた慢性特発性偽性腸閉塞症の原因遺伝子探索	照井慶太	小児外科	600,000	補	文部科学省
機能的消化管障害および炎症性腸疾患モデルマウスを用いた腸管神経の役割の解析	小原由紀子	小児外科	1,700,000	補	文部科学省
網羅的ゲノム・エピゲノム解析による神経芽腫再発・治療抵抗性獲得のメカニズムの解明	吉田英生(分担)	小児外科	100,000	補	文部科学省
軸索興奮性測定・脳機能画像を用いた神経障害性疼痛の客観的総合評価システムの確立	桑原 聡	神経内科	780,000	補	日本学術振興会
糖尿病性神経障害による疼痛の効率的治療戦略の構築	三澤園子	神経内科	1,560,000	補	日本学術振興会
プロテアソーム阻害薬誘発性末梢神経障害の病態解明と神経保護療法の開発	関口 縁	神経内科	1,690,000	補	日本学術振興会
タウオパチーにおけるタウ蛋白と脳機能の神経画像基盤研究	平野成樹	神経内科	520,000	補	日本学術振興会
視床下核脳深部刺激療法の高位排尿中枢への作用メカニズムの解明	山本達也	神経内科	650,000	補	日本学術振興会
抗talin自己抗体を標的とした多発性硬化症の新規治療戦略	森 雅裕	神経内科	1,560,000	補	日本学術振興会
Crow-Fukase症候群に対するサリドマイドの有効性を検討するためのプラセボ対照二重盲検	桑原 聡	神経内科	2,632,936	委	日本医療開発機構
治験の実施に関する研究【サリドマイド】	桑原 聡	神経内科	800,000	委	日本医療開発機構
ギラン・バレー症候群に対するエクシズマブの安全性と有効性を評価する前向き・多施設共同・第II相試験	桑原 聡	神経内科	37,828,000	委	日本医療開発機構
クロー・フカセ症候群の全国調査と症例登録システム構築	桑原 聡	神経内科	1,281,000	補	厚生労働省
エビデンスに基づいた神経免疫疾患の早期診断基準・重症度分類・治療アルゴリズムの確立	桑原 聡	神経内科	750,000	補	厚生労働省
運動失調班の医療基盤に関する調査研究	桑原 聡	神経内科	900,000	補	厚生労働省
神経変性疾患領域における基盤的調査研究	桑原 聡	神経内科	500,000	補	厚生労働省
子宮頸がんワクチン接種後の神経障害に関する治療法の確立と情報提供についての研究	桑原 聡	神経内科	550,000	補	厚生労働省
多系統萎縮症の治療法開発研究	桑原 聡	神経内科	600,000	委	日本医療開発機構
免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	桑原 聡	神経内科	400,000	委	日本医療開発機構
抗Neurofascin155抗体関連中枢・末梢神経障害症候群(CCPD/CIDP)の診療ガイドライン作成のための定量的抗体測定法の開発と基盤エビデンスの構築	桑原 聡	神経内科	700,000	委	日本医療開発機構
視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性を検証する第II/III相多施設共同プラセボ対照無作為化試験	森 雅裕	神経内科	1,500,000	委	日本医療開発機構
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法の開発に関する研究	桑原 聡	神経内科	800,000	委	厚生労働省
集中治療患者の貧血に対するエリスロポエチン製剤投与の可能性	織田成人	救急集中治療医学	800,000	補	文部科学省
網羅的exome解析による敗血症関連遺伝子の探索と個別化医療への展開	中田孝明	集中治療部	4,500,000	補	文部科学省
敗血症病態における免疫担当細胞へのオートファジー機構の関与	大網毅彦	集中治療部	1,400,000	補	文部科学省
Ncx KOマウスにおける腸管apoptosisの検討	砂原 聡	集中治療部	1,000,000	補	文部科学省
頭部外傷における予後予測のためのbiomarkerの検討	富田啓介	集中治療部	700,000	補	文部科学省
心肺停止蘇生後症候群の予後予測因子としての遺伝子多型の関与に関する研究	渡邊栄三	救急集中治療医学	1,000,000	補	文部科学省
侵襲に伴う過剰な血管透過性亢進を制御する新規治療法の開発	中田孝明	集中治療部	900,000	補	文部科学省
国内流行HIVおよびその薬剤耐性株の長期的動向調査に関する研究	猪狩 英俊	感染症内科・感染制御部	1,000,000	委	日本医療研究開発機構

結核の診断および治療の強化等に関する革新的な手法の開発に関する研究	猪狩 英俊	感染症内科・感染制御部	1,200,000	委	結核研究所
医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に向けた医学調査研究	生坂 政臣	総合診療科	0円(分担研究者への配分金なし)	補	文部科学省
音声認識システムAmiVoiceを用いたフィードバックによる臨床推論能力向上に関する研究	鋪野 紀好	総合診療科	330,000	補	医学教育振興財団
フリーソフトを用いたe-ポートフォリオ導入とその教育支援効果および評価ツールとしての有用性に関する研究	鋪野 紀好	総合診療科	200,000	補	日本プライマリ・ケア連合学会
B型肝炎における自然免疫の機能解明とその制御による発癌抑止法開発	横須賀 収	消化器内科	5,384,616	委	日本医療研究開発機構
経口感染によるウイルス性肝炎(A型及びE型)の感染防止、病態解明、治療等に関する研究	神田 達郎	消化器内科	1,500,000	委	日本医療研究開発機構
Drug freeからHBs抗原消失を目指すB型肝炎抗ウイルス療法とこの効果を予測する新規因子の検討	神田 達郎	消化器内科	2,000,000	委	日本医療研究開発機構
ゲノム網羅的解析によるB型肝炎ウイルス感染の病態関連遺伝子の同定と新規診断法の開発	横須賀 収	消化器内科	1,000,000	委	日本医療研究開発機構
非アルコール性脂肪肝炎に対する非侵襲的診断支援システムの構築	丸山 紀史	消化器内科	800,000	補	文部科学省
正常肝臓および肝臓におけるヒストンメチル化酵素ESETの幹細胞制御機構の解明	千葉 哲博	消化器内科	900,000	補	文部科学省
大腸カプセル内視鏡を用いた、新しい大腸がん二次検診の構築	新井誠人	消化器内科	1,900,000	補	ちば県民保健予防財団
重粒子線治療研究 肝腫瘍研究班	横須賀 収	消化器内科	100,000	補	放射線医学総合研究所
重粒子線治療研究 膵腫瘍研究班	三方 林太郎	消化器内科	100,000	補	放射線医学総合研究所
骨髄微小環境と形質細胞のそぞろ作用に基づいたPOEMS症候群の発症機構の解析	中世古知昭	血液内科	1,000,000	補	厚生労働省
次世代シーケンサーによるMRD検出法に基づくPOEMS症候群の治療戦略の確立	堺田恵美子	血液内科	1,300,000	補	厚生労働省
Smad3ノックアウトマウスを用いた骨髄線維症発症機構の解析	武内正博	血液内科	1,100,000	補	厚生労働省
新規バイオマーカーLR11の急性白血病および悪性リンパ腫における有用性の確立	大和田千桂子	血液内科	2,307,692	補	厚生労働省
チロシンキナーゼ阻害薬による慢性骨髄性白血病の治癒を目指した研究	中世古 知昭	血液内科	1,200,001	委	日本医療研究開発機構
「気道上皮—免疫バリア」という観点からの喘息の病態解明	中島 裕史	アレルギー・膠原病内科	5,100,000	補	文部科学省
我が国の関節リウマチ診療標準化のための研究	池田 啓	アレルギー・膠原病内科	200,000	補	厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究班	古田 俊介	アレルギー・膠原病内科	300,000	補	厚生労働省
細胞内亜鉛制御による関節リウマチの新規治療戦略の確立	池田 啓	アレルギー・膠原病内科	1,500,000	補	文部科学省
重症喘息におけるIL-23産生樹状細胞誘導機構の解明	玉地 智宏	アレルギー・膠原病内科	600,000	補	文部科学省
C型レクチンによる気管支喘息発症抑制機構の解明	廣瀬 晃一	アレルギー・膠原病内科	1,500,000	補	文部科学省
濾胞ヘルパーT細胞の分化及び関節リウマチ発症におけるBCL-3の役割の解明	鈴木 浩太郎	アレルギー・膠原病内科	1,100,000	補	文部科学省
Soxファミリー分子による自己免疫疾患制御 機構に関する研究	須藤 明	アレルギー・膠原病内科	1,300,000	補	文部科学省
アレルギー性気道炎症におけるFOXP3陽性制御性自然免疫細胞の役割の解明	高取 宏昌	アレルギー・膠原病内科	1,500,000	補	文部科学省
喘息の気道上皮細胞におけるステロイド抵抗性獲得機構に関する研究	横田 雅也	アレルギー・膠原病内科	1,000,000	補	文部科学省
関節リウマチにおけるARID5の役割の解明	古田 俊介	アレルギー・膠原病内科	1,500,000	補	文部科学省
アレルギー性気道炎症における蛋白シトルリン化の病的意義の解明	前澤 裕子	アレルギー・膠原病内科	110,000	補	文部科学省

小計30

早老症の実態把握と予後改善を目指す集学的研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	8,549,000	補	厚生労働省
LCAT遺伝子導入ヒト増殖型脂肪細胞を用いた遺伝子治療	横手幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	23,855,400	委	日本医療研究開発機構
早老症ウェルナー症候群の全国調査と症例登録システム構築によるエビデンスの創生	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	7,680,000	委	日本医療研究開発機構
遺伝子治療用脂肪細胞の調整に関する研究	横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	3,024,000	共	日本医療研究開発機構
「抗菌活性・創修復作用を有する新規ペプチドを用いた遺伝的早老症患者の難治性潰瘍治療薬の開発	横手 幸太郎 (研究分担者)	糖尿病・代謝・内分泌内科	7,300,000	委	日本医療研究開発機構
患者データベースに基づく糖尿病の新規合併症マーカーの探索と均てん化に関する研究-合併症予防と受診中断抑止の視点から	横手 幸太郎 (研究分担者)	糖尿病・代謝・内分泌内科	450,000	委	日本医療研究開発機構
糖尿病の標準的治療の開発と均てん化に関する研究	横手 幸太郎 (研究分担者)	糖尿病・代謝・内分泌内科	910,000	委	日本医療研究開発機構
原発性高脂血症に関する調査研究	横手 幸太郎 (研究分担者)	糖尿病・代謝・内分泌内科	200,000	補	厚生労働省
高齢者造血器腫瘍の発症基盤としてのステムセルエイジングの解明	横手 幸太郎 (研究分担者)	糖尿病・代謝・内分泌内科	8,000,000	補	日本学術振興会
セマフォリン3gによる膜α細胞の恒常性維持機構解明と糖尿病治療への応用	河村治清	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,400,000	補	日本学術振興会
ポドサイトの転写因子Tcf21の機能解析を通じた慢性腎臓病の機序解明	前澤善朗	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,300,000	補	日本学術振興会
CXCL12-CXCR4経路を介した新規褐色脂肪活性化メカニズムの解明	石川耕	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,430,000	補	日本学術振興会
p53依存的グルタミン代謝調節分子GLS2によるNASH-HCC病態制御の役割	田中知明	糖尿病・代謝・内分泌内科	3,100,000	補	日本学術振興会
細胞老化が引き起こす恒常性破綻の病態解明とその制御	田中知明	糖尿病・代謝・内分泌内科	10,000,000	委	日本医療研究開発機構
AKAP13を用いた骨代謝の新たな制御機構の解明	小出尚史	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,700,000	補	日本学術振興会
肥満・糖尿病と発癌を結びつけるグルタミン代謝ネットワークの基盤的研究	鈴木佐和子	糖尿病・代謝・内分泌内科	1,200,000	補	日本学術振興会
鎮静下内視鏡的粘膜下層剥離術中のポリソムノグラフィーを用いた呼吸管理法の確立	上里 昌也	食道・胃腸外科/ 先端応用外科学	1,600,000	補	日本学術振興会
進行上部消化管癌における血中遊離核酸、エクソソームの解析	松原 久裕	食道・胃腸外科/ 先端応用外科学	1,500,000	補	日本学術振興会
外科一般、消化器外科、癌治療分野に関する学術研究動向-消化器癌治療の新たな展開-	松原 久裕	食道・胃腸外科/ 先端応用外科学	1,300,000	補	日本医療研究開発機構
早期診断マルチバイオマーカー開発(血中エクソソームの定量プロテオーム解析による新規腫瘍マーカーの開発における検体収集、候補分子評価	松原 久裕	食道・胃腸外科/ 先端応用外科学	3,500,000	補	日本医療研究開発機構
食道癌ゲノムおよびエピジェネティクス制御解析による分子治療開発	松原 久裕	食道・胃腸外科/ 先端応用外科学	3,800,000	補	日本医療研究開発機構
癌源細胞を中心とした細胞分化・脱分化によるde novo原発性肝癌とその制御	大塚 将之	臓器制御外科学	1,000,000	補	日本学術振興会
至適肝容積を超えた過大肝再生誘導における肝再生機構および肝幹・前駆細胞の機能解析	加藤 厚	臓器制御外科学	900,000	補	日本学術振興会
新しい膵消化管神経内分泌腫瘍分類法の確立	吉富 秀幸	臓器制御外科学	1,500,000	補	日本学術振興会
高度侵襲手術に対する免疫栄養療法確立に向けた臨床試験	古川 勝規	臓器制御外科学	1,500,000	補	日本学術振興会
肝胆膵領域癌での炎症性シグナルとしてのNF-kappaB活性と癌悪性度との関連性	久保木 知	臓器制御外科学	1,300,000	補	日本学術振興会
がん診療ガイドライン普及促進とその効果に関する研究及び同ガイドライン事業の在り方に関する研究	宮崎 勝	臓器制御外科学	150,000	補	日本学術振興会
網羅的蛋白質解析を利用した膵胆道癌早期診断法の確立とその分子機構解析に向けた挑戦	宮崎 勝	臓器制御外科学	1,600,000	補	日本学術振興会
EMT-METplasticityによる膵胆道癌進展機序の解明と個別化治療応用	高野 重紹	臓器制御外科学	10,300,000	補	日本学術振興会
Notch/Sox9シグナル阻害剤による膵癌の新規	賀川 真吾	臓器制御外科学	600,000	補	日本学術振興会

小計30

膵臓におけるPin1制御を介したNF-κB活性抑制を用いた新規分子標的治療の開発	久保木 知	臓器制御外科学	1,000,000	委	公益財団法人日本膵臓病研究財団
膵臓がんにおけるSoxシグナル制御による抗癌剤耐性機構の解明	賀川 真吾	臓器制御外科学	1,000,000	委	公益財団法人日本膵臓病研究財団
膵腫瘍臨床研究班	大塚 将之	臓器制御外科学	100,000	委	放射線医学総合研究所
肝腫瘍臨床研究班	大塚 将之	臓器制御外科学	100,000	委	放射線医学総合研究所
多種の細胞外マトリックスの複合的な関与による乳癌の多様性の形成	榊原雅裕	乳腺甲状腺外科	1,800,000	補	日本学術振興会
家族性乳がんに対する遺伝子変異スクリーニング法の確立と臨床病理学的特徴の解明	長嶋健	乳腺甲状腺外科	300,000	補	柏戸医学研究奨励金
アロマトマーゼのアンドロゲン降下作用に着目した新たな排卵誘発法の開発	生水真紀夫	生殖医学	7,300,000	補	日本学術振興会
非侵襲性着床前遺伝子スクリーニングNIPGSをめざす探索研究	生水真紀夫	生殖医学	600,000	補	日本学術振興会
多職種からなる周産期急変対応チームの育成システム構築に関する研究	長田久夫	生殖医学	1,200,000	補	日本学術振興会
ゲノム・エピゲノム解析による子宮頸癌前駆病変(CIN)患者の子宮頸癌発癌リスクの特定とそれに基づくCIN患者の個別化リスク低減法に関する研究 分担研究:臨床サンプルの収集・発癌リスク症例へのリスク低減手術	三橋暁	生殖医学	2,307,693	委	日本医療研究開発機構
肥満・インスリン抵抗性を標的にしたメホルミンの子宮体癌予防にむけた臨床的研究	三橋暁	生殖医学	1,300,000	補	日本学術振興会
血清microRNAプロファイルに基づく侵入奇胎の早期診断法確立・成立機序の解明	碓井宏和	生殖医学	1,900,000	補	日本学術振興会
子宮筋腫におけるミトコンドリア機能とエネルギー代謝経路に関する研究	石川博士	生殖医学	1,100,000	補	日本学術振興会
子宮筋腫のミトコンドリア機能解析研究	石川博士	生殖医学	1,000,000	補	山口内意分泌疾患研究振興財団
自然周期採卵における小卵由来卵子の由来推定とその有用性	田中宏一	周産期母性科	1,700,000	補	日本学術振興会
血漿RNAはTLR3を介して妊娠高血圧症候群を惹起する	中田恵美里	周産期母性科	1,000,000	補	日本学術振興会
CISH法による絨毛分子病型診断法の確立	加来博志	周産期母性科	1,100,000	補	日本学術振興会
気管支鏡検体によるマルチプレックスバイオマーカー診断・抗がん剤感受性診断法の開発	松下一之 (分担者)	分子病態解析学 検査部・遺伝子診療部	1,950,000	補	文部科学省
T細胞性急性リンパ性白血病の新規発症メカニズムの解明と診断・治療への応用	松下一之 (代表者)	分子病態解析学 検査部・遺伝子診療部	1,560,000	補	文部科学省
新規腫瘍マーカー:クラスリン重鎖の、食道および頭頸部がん診断への応用	清宮正徳 (代表者)	検査部	1,430,000	補	文部科学省
血清抗体による食道扁平上皮癌のモニタリングとプロファイリングに関する研究	松下一之 (分担者)	分子病態解析学 検査部・遺伝子診療部	1,560,000	補	文部科学省
Immuno-MS(質量分析)の臨床検査応用に向けた免疫複合体MS前処理法の開発	西村基 (代表者)	分子病態解析学 検査部	2,730,000	補	文部科学省
質量分析計(LC-MS/MS)を用いた定量測定の臨床検査応用と基盤技術の構築	佐藤守 (代表者)	分子病態解析学 マスマスペクトロメリー検査診断学	1,300,000	補	文部科学省
トキシソプラズマ性網脈絡膜炎のプロテオーム解析—バイオマーカーの探索—	佐藤守 (分担者)	分子病態解析学 マスマスペクトロメリー検査診断学	910,000	補	文部科学省
モデフィコムクスによる歯周疾患のバイオマーカー開発	土田祥央 (代表者)	分子病態解析学 マスマスペクトロメリー検査診断学	1,690,000	補	文部科学省
ボトムアッププロテオミクスを応用した多因子遺伝性疾患感受性遺伝子探索	野村文夫 (分担者)	マスマスペクトロメリー検査診断学 遺伝子診療部	1,430,000	補	文部科学省
プロテオーム解析を用いた慢性炎症性脱髄性多発神経炎の免疫標的分子の同定と病態解明	別府美奈子 (代表者)	分子病態解析学 検査部	1,820,000	補	文部科学省
メディカル・ゲノムセンター等におけるゲノム医療実施体制の構築と人材育成に関する研究	松下一之 (分担者)	分子病態解析学 検査部・遺伝子診療部	4,000,000	補	日本医療研究開発機構
成人における未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	野村文夫 (分担者)	マスマスペクトロメリー検査診断学 遺伝子診療部	50,000,000	補	日本医療研究開発機構
質量分析技術による「ゲノム・フリー」なApolipoprotein Eタイピング(迅速ApoE セロタイピング)を目指した試み	西村基 (代表者)	分子病態解析学 検査部	500,000	補	日本臨床検査医学会

血清ビタミンD代謝動態評価の為のLC-MS/MSによる高精度分析法の構築	石毛崇之	検査部	1,300,000	補	日本学術振興会
プロテオーム解析を用いた食道扁平上皮癌の化学療法感受性マーカーの探索	風見 隆浩	検査部	1,800,000	補	日本学術振興会
医療情報データベース分析手法高度化のためのデータ検証(バリデーション)事業	鈴木 隆弘	企画情報部	15,141,000	委	厚生労働省
臨床・クラークシップへの専門職連携教育プログラムの導入と学習効果の評価	朝比奈 真由美	総合医療教育研修センター	1,560,000	補	日本学術振興会
賦活脂肪組織によるアルツハイマー型認知症の幹細胞動員修復機構の解明	黒田正幸	未来開拓センター	1,400,000	補	日本学術振興会
3次元培養系を利用したPI3K阻害剤の抗動脈硬化作用の検討	内田雅士	薬剤部	600,000	補	日本学術振興会
褥瘡治癒に影響を与えるリスク因子に関する評価・検討	新井健一	薬剤部	400,000	補	日本学術振興会
SGLT2阻害薬の臨床効果および有害事象の比較に関する研究	新井さやか	薬剤部	300,000	補	日本学術振興会
血液浄化療法施行下におけるサイトメガロウイルス感染症治療薬の投与設計方法の確立	鈴木達也	薬剤部	600,000	補	日本学術振興会
ビンクリスチンによる神経障害発現に及ぼす併用薬および薬物動態関連遺伝子多型の影響	石川雅之	薬剤部	600,000	補	日本学術振興会
動脈硬化惹起性リポタンパク質アポロリン化LDLの測定系開発と血中濃度測定の評価	渡辺健太	薬剤部	600,000	補	日本学術振興会
持続的血液濾過透析施行患者におけるカルバペネム系抗菌薬の投与設計法の構築	新部陽子	薬剤部	300,000	補	日本学術振興会
ゲンタマイシンのリステリア髄膜炎に対する有効性への疑問と解決	長内理大	薬剤部	600,000	補	日本学術振興会
ベバシズマブ関連高血圧に対する降圧剤の選択と抗腫瘍効果への影響について	山崎香織	薬剤部	300,000	補	日本学術振興会
アカデミック臨床研究機関(ARO)によるプロジェクト管理型Investigator Initiated Trial	花岡英紀	臨床試験部	82,071,000	委	日本医療研究開発機構
臨床研究品質確保体制整備事業	花岡英紀	臨床試験部	111,600,000	委	日本医療研究開発機構
革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業	花岡英紀	臨床試験部	34,000,000	補	厚生労働省

小計17

合計257

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Toshinao Takahashi1, Toshio Nagai1), Masato Kanda1), Mei-Lan Liu1), Naomichi Kondo1), Atsuhiko T Naito3), Takehiko Ogura2), Haruaki Nakaya2), Jong-Kook Lee4), Issei Komuro3), Yoshio Kobayashi1)	循環器内科	Regeneration of the Cardiac Conduction System by Adipose Tissue-Derived Stem Cells	Circ J. 2015;79(12):2703-12
2	Koya Ozawa 1, Nobusada Funabashi 1, Hiroyuki Takaoka 1, Kamata T2, Akiyo Kanaeda 2, Saito M2, Fumio Nomura 2, Yoshio Kobayashi 1.	循環器内科	Characteristic myocardial strain identified in hypertrophic cardiomyopathy subjects with preserved left ventricular ejection fraction using a novel multi-layer transthoracic echocardiography technique	Int J Cardiol. 2015 Apr 1;184:237-43
3	Funabashi N, Takaoka H, Uehara M, Murayama T, Ozawa K, Kobayashi Y	循環器内科	LAA CT contrast defects correlate with TEE LAA velocity and CHADS <sub>2</sub> -score and are a prognostic indicator for embolism in subjects with atrial fibrillation or flutter	Int J Cardiol. 2015 Apr 15;185:297-300
4	Hiroyuki Takaoka, Nobusada Funabashi, Masae Uehara, Koya Ozawa, Yoshio Kobayashi .	循環器内科	Successful prediction of MACE by myocardial fibrosis on CT in hypertrophic cardiomyopathy patients without obstructed coronary arteries	Int J Cardiol. 2015 Nov 15;199:34-7
5	Koya Ozawa 1, Nobusada Funabashi 1, Hiroyuki Takaoka 1, Kamata T2, Fumio Nomura 2, Yoshio Kobayashi 1.	循環器内科	Consistencies of 3D TTE global longitudinal strain of both ventricles between assessors were worse for 2D, but better for 3D ventricular EF	Int J Cardiol. 2015 Nov 1;198:140-51
6	Yasuhiro Aoki 1, Keishi Ishikawa 1, Keiichiro Miura 1, Kazumasa Sugimoto 1, Takashi Nakayama 1, Yoshihide Fujimoto 1, Yoshio Kobayashi 1.	循環器内科	Protective effect of angiotensin II receptor blocker and calcium channel blocker on endothelial vasomotor function after everolimus-eluting stent implantation	J Cardiol. 2016 Mar;67(3):236-40
7	Takeshi Nishi 1, Ariyoshi N2, Takashi Nakayama 1, Yoshihide Fujimoto 1, Kazumasa Sugimoto 1, Masayuki Takahara 1, Shinichi Wakabayashi 1, Koshizaka M3, Hanaoka H3, Yoshio Kobayashi 1	循環器内科	Increased platelet inhibition after switching from maintenance clopidogrel to prasugrel in Japanese patients with stable coronary artery disease	Circ J. 2015;79(11):2439-44
8	Yuichi Saito, Takashi Nakayama, Kazumasa Sugimoto, Yoshihide Fujimoto, Yoshio Kobayashi	循環器内科	Relation of Lipid Content of Coronary Plaque to Level of Serum Uric Acid	Am J Cardiol. 2015 Nov 1;116(9):1346-50
9	Tomonori Kanaeda 1, Marehiko Ueda 1, Makoto Arai 2, Masayuki Ishimura 1, Takatsugu Kajiyama 1, Naotaka Hashiguchi 1, Masahiro Nakano 1, Yusuke Kondo 1, Yasunori Hiranuma 1, Arata Oyamada 2, Osamu Yokosuka 2, Yoshio Kobayashi 1.	循環器内科/ 消化器内科	Evaluation of periesophageal nerve injury after pulmonary vein isolation using the (13)C-acetate breath test.	J Arrhythm. 2015 Dec;31(6):364-70
10	Nobusada Funabashi 1, Yasuaki Namihira 2, Ryosuke Irie 2, Yoshihide Fujimoto 1, Toshihiro Shoji 1, Hiroyuki Takaoka 1, Hironori Kondo 2, Kanako Atou 2, Joji Ota 2, Yoshitada Masuda 2, Takashi Uno 2, Yoshio Kobayashi 1	循環器内科	Recommended acquisition-parameters in achieving successful evaluation of coronary lumen patency surrounded by XIENCE of diameters<3.0mm in 1st generation 320-slice CT. XIENCE Phantom Study Part 1	Int J Cardiol. 2016 Jan 1;202:537-40
11	Nobusada Funabashi 1, Yasuaki Namihira 2, Ryosuke Irie 2, Yoshihide Fujimoto 1, Toshihiro Shoji 1, Hiroyuki Takaoka 1, Hironori Kondo 2, Kanako Atou 2, Joji Ota 2, Yoshitada Masuda 2, Takashi Uno 2, Yoshio Kobayashi 1	循環器内科	Recommended acquisition parameters in achieving successful evaluation of coronary lumen patency surrounded by XIENCE of diameters<3.0mm in 2nd-generation 320-slice CT. XIENCE Phantom Study part 2	Int J Cardiol. 2016 Jan 1;202:541-5
12	Nobusada Funabashi 1, Yasuaki Namihira 2, Ryosuke Irie 2, Yoshihide Fujimoto 1, Toshihiro Shoji 1, Hiroyuki Takaoka 1, Hironori Kondo 2, Kanako Atou 2, Joji Ota 2, Yoshitada Masuda 2, Takashi Uno 2, Yoshio Kobayashi 1	循環器内科	2nd generation is superior to 1st generation 320-slice CT for evaluation of coronary-lumen after insertion of a XIENCE(3mm diameter: XIENCE Phantom Study Part 3.	Int J Cardiol. 2016 Jan 1;202:546-8
13	Nobusada Funabashi 1, Yasuaki Namihira 2, Ryosuke Irie 2, Yoshihide Fujimoto 1, Toshihiro Shoji 1, Hiroyuki Takaoka 1, Hironori Kondo 2, Kanako Atou 2, Joji Ota 2, Yoshitada Masuda 2, Takashi Uno 2, Yoshio Kobayashi 1	循環器内科	Multisector-reconstruction in 1st generation 320-slice CT at high pulsation-rates achieved accurate-evaluation of coronary-lumen patency after insertion of a XIENCE stent. XIENCE Phantom Study Part 4	Int J Cardiol. 2016 Jan 1;202:509-10
14	Nobusada Funabashi 1, Yasuaki Namihira 2, Ryosuke Irie 2, Yoshihide Fujimoto 1, Toshihiro Shoji 1, Hiroyuki Takaoka 1, Hironori Kondo 2, Kanako Atou 2, Joji Ota 2, Yoshitada Masuda 2, Takashi Uno 2, Yoshio Kobayashi 1	循環器内科	Optical stent-sizes in evaluating patency of coronary lumen surrounded by XIENCE of actual diameters 2.21-2.85 mm in 1st-generation 320-slice-CT using Pulsating-Phantom XIENCE phantom study part 5	Int J Cardiol. 2016 Jan 1;202:549-51
15	Funabashi N1, Takaoka H1, Ishikawa K1, Ozawa K1, Shimojo N2, Kobayashi Y1	循環器内科	Bland-White-Garland syndrome diagnosed by computed tomography	Int J Cardiol. 2015 Dec 15;201:465-8
16	Funabashi N1, Takaoka H2, Ozawa K2, Tanabe N3, Tatsumi K3, Saeki N4, Higashide T5, Uno T5, Kobayashi Y2.	循環器内科	Combined ostium secundum type ASD and pulmonary arterial thromboembolism causing pulmonary artery enlargement, pulmonary hypertension and recurrent paradoxical cerebral embolism due to deep venous thrombosis	Int J Cardiol. 2016 Mar 15;207:303-7
17	Kurokawa M	放射線科	Initial experience of radiotherapy plus cetuximab for Japanese head and neck cancer patients.	J Radiat Res. 2015;56:849-855.
18	Watanabe Nemoto M	放射線科	New approach to relieving pain and distress during high-dose-rate intracavitary irradiation for cervical cancer.	Brachytherapy. 2015;14:642-647.
19	Koda M, Furuya T, Okawa A, Aramomi M, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Ikeda O, Takahashi K, Yamazaki M, Mannoj C	整形外科	Bone union and remodeling of disruption in thoracic ossification of the longitudinal ligament after posterior decompression and fusion surgery.	Eur Spine J 2015;24:2555-2559.
20	Koda M, Furuya T, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Ikeda O, Aramomi M, Takahashi K, Yamazaki M, Mannoj C.	整形外科	Resolution of low back symptoms after corrective surgery for dropped-head syndrome: a report of two cases.	BMC Res Notes 2015;8:545

小計20

21	Koda M, Mannoji C, Oikawa M, Murakami M, Okamoto Y, Kon T, Okawa A, Ikeda O, Yamazaki M, Furuya T.	整形外科	Herpes zoster sciatica mimicking lumbar canal stenosis: a case report.	BMC Res Notes 2015;8:320
22	Koda M, Mannoji C, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Takahashi K, Yamazaki M, Aramomi M, Ikeda O, Furuya T.	整形外科	Neurological deterioration induced by sitting in patients after cervicothoracic posterior decompression with instrumented fusion surgery for ossification of the longitudinal ligament: two cases reports.	BMC Res Notes 2015;8:133
23	Matsuura Y, Thoreson AR, Zhao C An KN.	整形外科	Development of a hyperelastic material model of subsynovial connective tissue using finite element modeling.	J Biomech. 2016 49(1) 119-122
24	Sato J, Ohtori S, Orita S, Yamauchi K, Eguchi Y, Ochiai N, Kuniyoshi K, Aoki Y, Nakamura J, Miyagi M, Suzuki M, Kubota G, Inage K, Sainoh T, Fujimoto K, Shiga Y, Abe K, Kanamoto H, Inoue G, Takahashi K.	整形外科	Radiographic evaluation of indirect decompression of mini-open anterior retroperitoneal lumbar interbody fusion: oblique lateral interbody fusion for degenerated lumbar spondylolisthesis.	Eur Spine J. 2015 Aug 6. [Epub ahead of print]
25	Ohtori S, Mannoji C, Orita S, Yamauchi K, Eguchi Y, Ochiai N, Kishida S, Kuniyoshi K, Aoki Y, Nakamura J, Ishikawa T, Miyagi M, Kamoda H, Suzuki M, Kubota G, Sakuma Y, Oikawa Y, Inage K, Sainoh T, Sato J, Shiga Y, Abe K, Fujimoto K, Kanamoto H, Toyone T, Inoue G, Takahashi K.	整形外科	Mini-Open Anterior Retroperitoneal Lumbar Interbody Fusion: Oblique Lateral Interbody Fusion for Degenerated Lumbar Spinal Kyphoscoliosis.	Asian Spine J. 2015 Aug;9(4):565-72.
26	Ohtori S, Orita S, Yamauchi K, Eguchi Y, Ochiai N, Kishida S, Kuniyoshi K, Aoki Y, Nakamura J, Ishikawa T, Miyagi M, Kamoda H, Suzuki M, Kubota G, Sakuma Y, Oikawa Y, Inage K, Sainoh T, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Abe K, Toyone T, Inoue G, Takahashi K.	整形外科	Mini-Open Anterior Retroperitoneal Lumbar Interbody Fusion: Oblique Lateral Interbody Fusion for Lumbar Spinal Degeneration Disease.	Yonsei Med J. 2015 Jul;56(4):1051-9.
27	Wakita H, Shiga Y, Ohtori S, Kubota G, Inage K, Sainoh T, Sato J, Fujimoto K, Yamauchi K, Nakamura J, Takahashi K, Toyone T, Aoki Y, Inoue G, Miyagi M, Orita S.	整形外科	Less invasive corrective surgery using oblique lateral interbody fusion (OLIF) including L5-S1 fusion for severe lumbar kyphoscoliosis due to L4 compression fracture in a patient with Parkinson's disease: a case report.	BMC Res Notes. 2015 Apr 7;8:126.
28	Inage K, Orita S, Yamauchi K, Sakuma Y, Kubota G, Oikawa Y, Sainoh T, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	Erratum: Correction of Figures. The Time Course Changes in Bone Metabolic Markers after Administering the Anti-Receptor Activator of Nuclear Factor-Kappa B Ligand Antibody and Drug Compliance among Patients with Osteoporosis.	Asian Spine J. 2015 Dec;9(6):999-1000.
29	Yunde A, Inage K, Orita S, Yamauchi K, Suzuki M, Sakuma Y, Kubota G, Oikawa Y, Sainoh T, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Abe K, Kanamoto H, Suzuki T, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	Effective treatment of post-spinal fusion methicillin-resistant Staphylococcus aureus vertebral osteomyelitis with linezolid in a renal-transplant patient.	BMC Res Notes. 2015 Nov 24;8:708.
30	Orita S, Shiga Y, Fujimoto K, Sainoh T, Kubota G, Inage K, Sato J, Yamauchi K, Aoki Y, Nakamura J, Matsuura Y, Suzuki T, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	Modified and systematically-designed installation procedure for spinal cord stimulation in the decubitus position under local anesthesia: a introductory technical case report.	Int J Clin Exp Med. 2015 Aug 15;8(8):12356-64.
31	Orita S, Yamagata M, Ikeda Y, Nakajima F, Aoki Y, Nakamura J, Takahashi K, Suzuki T, Ohtori S.	整形外科	Retrospective exploration of risk factors for L5 radiculopathy following lumbar floating fusion surgery.	J Orthop Surg Res. 2015 Oct 17;10:164.
32	Kobayashi T, Yamauchi K, Matsuura Y, Kuniyoshi K, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	The Effects of Generally Administered Anti-Nerve Growth Factor Receptor (p75NTR) Antibody on Pain-Related Behavior, Dorsal Root Ganglia, and Spinal Glia Activation in a Rat Model of Brachial Plexus Avulsion.	J Hand Surg Am. 2015 Oct;40(10):2017-25.
33	Hashimoto K, Kuniyoshi K, Suzuki T, Hiwatari R, Matsuura Y, Takahashi K.	整形外科	Biomechanical Study of the Digital Flexor Tendon Sliding Lengthening Technique.	J Hand Surg Am. 2015 Oct;40(10):1981-5.
34	Maki S, Koda M, Ota M, Oikawa Y, Kamiya K, Inada T, Furuya T, Takahashi K, Masuda Y, Matsumoto K, Kojima M, Obata T, Yamazaki M.	整形外科	Reduced Field-of-View Diffusion Tensor Imaging of the Spinal Cord Shows Motor Dysfunction of the Lower Extremities in Patients with Cervical Compression Myelopathy.	Spine (Phila Pa 1976). 2015 Aug 13. [Epub ahead of print]
35	Ohtori S, Orita S, Yamauchi K, Eguchi Y, Ochiai N, Kishida S, Kuniyoshi K, Aoki Y, Nakamura J, Ishikawa T, Miyagi M, Kamoda H, Suzuki M, Kubota G, Sakuma Y, Oikawa Y, Inage K, Sainoh T, Sato J, Shiga Y, Abe K, Fujimoto K, Kanamoto H, Toyone T, Inoue G, Takahashi K.	整形外科	Efficacy of Direct Injection of Etanercept into Knee Joints for Pain in Moderate and Severe Knee Osteoarthritis.	Yonsei Med J. 2015 Sep;56(5):1379-83.
36	Sato J, Ohtori S, Orita S, Yamauchi K, Eguchi Y, Ochiai N, Kuniyoshi K, Aoki Y, Nakamura J, Miyagi M, Suzuki M, Kubota G, Inage K, Sainoh T, Fujimoto K, Shiga Y, Abe K, Kanamoto H, Inoue G, Takahashi K.	整形外科	Radiographic evaluation of indirect decompression of mini-open anterior retroperitoneal lumbar interbody fusion: oblique lateral interbody fusion for degenerated lumbar spondylolisthesis.	Eur Spine J. 2015 Aug 6. [Epub ahead of print]
37	Kijima T, Matsuki K, Ochiai N, Yamaguchi T, Sasaki Y, Hashimoto E, Sasaki Y, Yamazaki H, Kenmoku T, Yamaguchi S, Masuda Y, Umekita H, Banks SA, Takahashi K.	整形外科	In vivo 3-dimensional analysis of scapular and glenohumeral kinematics: comparison of symptomatic or asymptomatic shoulders with rotator cuff tears and healthy shoulders.	J Shoulder Elbow Surg. 2015 Nov;24(11):1817-26.
38	Yamaguchi S, Sasho T, Endo J, Yamamoto Y, Akagi R, Sato Y, Takahashi K.	整形外科	Shape of the lateral edge of the first metatarsal head changes depending on the rotation and inclination of the first metatarsal: a study using digitally reconstructed radiographs.	J Orthop Sci. 2015 Sep;20(5):868-74.
39	Yamaguchi T, Ochiai N, Sasaki Y, Kijima T, Hashimoto E, Sasaki Y, Kenmoku T, Yamazaki H, Miyagi M, Ohtori S, Takahashi K.	整形外科	Efficacy of hyaluronic acid or steroid injections for the treatment of a rat model of rotator cuff injury.	J Orthop Res. 2015 Dec;33(12):1861-7.
40	Inage K, Orita S, Yamauchi K, Sakuma Y, Kubota G, Oikawa Y, Sainoh T, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	The Time Course Changes in Bone Metabolic Markers after Administering the Anti-Receptor Activator of Nuclear Factor-Kappa B Ligand Antibody and Drug Compliance among Patients with Osteoporosis.	Asian Spine J. 2015 Jun;9(3):338-43.
41	Sato M, Inage K, Sakuma Y, Sato J, Orita S, Yamauchi K, Eguchi Y, Ochiai N, Kuniyoshi K, Aoki Y, Nakamura J, Miyagi M, Suzuki M, Kubota G, Sainoh T, Fujimoto K, Shiga Y, Abe K, Kanamoto H, Inoue G, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	Anti-RANKL antibodies decrease CGRP expression in dorsal root ganglion neurons innervating injured lumbar intervertebral discs in rats.	Eur Spine J. 2015 Sep;24(9):2017-22.
42	Kato K, Koda M, Takahashi H, Sakuma T, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Okawa A, Takahashi K, Yamazaki M, Aramomi M, Hashimoto M, Ikeda O, Mannoji C, Furuya T.	整形外科	Granulocyte colony-stimulating factor attenuates spinal cord injury-induced mechanical allodynia in adult rats.	J Neurol Sci. 2015 Aug 15;355(1-2):79-83.
43	Hagiwara S, Nakamura J, Watanabe A, Kishida S, Ohtori S, Omae T, Miyamoto S, Orita S, Takahashi K.	整形外科	Corticosteroids and low bone mineral density affect hip cartilage in systemic lupus erythematosus patients: Quantitative T2 mapping.	J Magn Reson Imaging. 2015 Dec;42(6):1524-31.
44	Sainoh T, Orita S, Miyagi M, Sakuma Y, Yamauchi K, Suzuki M, Kubota G, Oikawa Y, Inage K, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Inoue G, Aoki Y, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	Interleukin-6 and interleukin-6 receptor expression, localization, and involvement in pain-sensing neuron activation in a mouse intervertebral disc injury model.	J Orthop Res. 2015 Oct;33(10):1508-14.
45	Akatsu Y, Yamaguchi S, Mukoyama S, Morikawa T, Yamaguchi T, Tsuchiya K, Iwasaki J, Akagi R, Muramatsu Y, Katsuragi J, Fukawa T, Endo J, Takahashi K, Sasho T.	整形外科	Accuracy of high-resolution ultrasound in the detection of meniscal tears and determination of the visible area of menisci.	J Bone Joint Surg Am. 2015 May 20;97(10):799-806.

46	Oikawa Y, Eguchi Y, Inoue G, Yamauchi K, Orita S, Kamoda H, Ishikawa T, Miyagi M, Suzuki M, Sakuma Y, Kubota G, Inage K, Saino T, Sato H, Ando H, Kojima M, Okumura K, Masuda Y, Watanabe A, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	Diffusion tensor imaging of lumbar spinal nerve in subjects with degenerative lumbar disorders.	Magn Reson Imaging. 2015 Oct;33(8):956-61.
47	Inage K, Sakuma Y, Yamauchi K, Suganami A, Orita S, Kubota G, Oikawa Y, Sainoh T, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Takahashi K, Ohtori S, Tamura Y.	整形外科	Effect of photodynamic therapy on local muscle treatment in a rat muscle injury model: a controlled trial.	J Orthop Surg Res. 2015 Apr 18;10:50.
48	Fukawa T, Yamaguchi S, Watanabe A, Sasho T, Akagi R, Muramatsu Y, Akatsu Y, Katsuragi J, Endo J, Ozone F, Sato Y, Okubo T, Takahashi K.	整形外科	Quantitative Assessment of Tendon Healing by Using MR T2 Mapping in a Rabbit Achilles Tendon Transection Model Treated with Platelet-rich Plasma.	Radiology. 2015 Sep;276(3):748-55.
49	Omae T, Nakamura J, Ohtori S, Orita S, Yamauchi K, Miyamoto S, Hagiwara S, Kishida S, Takahashi K.	整形外科	A novel rat model of hip pain by intra-articular injection of nerve growth factor-characteristics of sensory innervation and inflammatory arthritis.	Mod Rheumatol. 2015;25(6):931-6.
50	Inage K, Sakuma Y, Yamauchi K, Suganami A, Orita S, Kubota G, Oikawa Y, Sainoh T, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Takahashi K, Ohtori S, Tamura Y.	整形外科	Longitudinal evaluation of local muscle conditions in a rat model of gastrocnemius muscle injury using an in vivo imaging system.	J Orthop Res. 2015 Jul;33(7):1034-8.
51	Miyamoto S, Nakamura J, Ohtori S, Orita S, Omae T, Nakajima T, Suzuki T, Takahashi K.	整形外科	Intra-articular injection of mono-iodoacetate induces osteoarthritis of the hip in rats.	BMC Musculoskelet Disord. 2016 Mar 18;17:132.
52	Maki S, Koda M, Furuya T, Takahashi K, Yamazaki M.	整形外科	Severe pain as a possible cause of dropped head syndrome that was attenuated after amputation of an ischemic lower limb.	BMC Res Notes. 2016 Mar 2;9:137. d
53	Sakuma Y, Miyagi M, Inoue G, Ishikawa T, Kamoda H, Yamauchi K, Orita S, Suzuki M, Oikawa Y, Inage K, Kubota G, Sainoh T, Sato J, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	Muscle injury in rats induces upregulation of inflammatory cytokines in injured muscle and calcitonin gene-related peptide in dorsal root ganglia innervating the injured muscle.	Muscle Nerve. 2016 Mar 1. doi: 10.1002/mus.25092.
54	Sainoh T, Orita S, Miyagi M, Inoue G, Yamauchi K, Suzuki M, Sakuma Y, Kubota G, Oikawa Y, Inage K, Sato J, Nakata Y, Aoki Y, Takahashi K, Ohtori S.	整形外科	Single intradiscal injection of the interleukin-6 receptor antibody tocilizumab provides short-term relief of discogenic low back pain; prospective comparative cohort study.	J Orthop Sci. 2016 Jan;21(1):2-6.
55	Yamamoto Y, Yamaguchi S, Sasho T, Fukawa T, Akatsu Y, Nagashima K, Takahashi K.	整形外科	Quantitative Ultrasound Elastography With an Acoustic Coupler for Achilles Tendon Elasticity: Measurement Repeatability and Normative Values.	J Ultrasound Med. 2016 Jan;35(1):159-66.
56	Sainoh T, Orita S, Miyagi M, Inoue G, Kamoda H, Ishikawa T, Yamauchi K, Suzuki M, Sakuma Y, Kubota G, Oikawa Y, Inage K, Sato J, Nakata Y, Nakamura J, Aoki Y, Toyone T, Takahashi K, Ohtori S	整形外科	Single Intradiscal Administration of the Tumor Necrosis Factor-Alpha Inhibitor, Etanercept, for Patients with Discogenic Low Back Pain.	Pain Med. 2016 Jan;17(1):40-5.
57	Hanawa S, Mitsuhashi A, Usui H, Yamamoto N, Watanabe-Nemoto M, Nishikimi K, Uehara T, Tate S, Uno T, Shozu M	婦人科	Daily Low-Dose Cisplatin-Based Concurrent Chemoradiotherapy for the Treatment of Cervical Cancer in Patients 70 Years or Older.	Int J Gynecol Cancer. 2015 Jun; 25(5): 891-6.
58	Ishikawa H, Kiyokawa T, Okayama J, Usui H, Shozu M.	生殖医学	Tubal pregnancy associated with additional conception in a contralateral tube.	J Obstet Gynaecol Res. 2015 Sep; 41(9):1487-90.
59	Ishikawa H, Sanada M, Shozu M.	生殖医学	Ovarian pregnancy associated with a fresh blastocyst transfer following in vitro fertilization.	J Obstet Gynaecol Res. 2015 Nov; 41(11):1823-5.
60	Nishikimi K, Kiyokawa T, Tate S, Iwamoto M, Shozu M.	婦人科	ARID1A Expression in Ovarian Clear Cell Carcinoma with an Adenofibromatous Component.	Histopathology. 2015 Dec; 67(6):866-71.
61	Mitsuhashi A, Sato Y, Kiyokawa T, Koshizaka M, Hanaoka H, Shozu M	生殖医学	Phase II study of medroxyprogesterone acetate plus metformin as a fertility-sparing treatment for atypical endometrial hyperplasia and endometrial cancer.	Ann Oncol. 2016 27(2):262-6
62	Ayumu Matsuoka, Shinichi Tate, Kyoko Nishikimi, Hiroshi Ishikawa, Makio Shozu	婦人科	Elevated serum progesterone levels in postmenopausal women with mucinous ovarian tumors	Menopause; 2015 in press (2016 Feb 18. [Epub ahead of print])
63	Kaku H, Usui H, Qu J, Shozu M.	産婦人科	Mature cystic teratomas arise from meiotic oocytes, but not from pre-meiotic oogonia.	Genes Chromosomes Cancer. 2016 Apr; 55(4):355-64. Epub 2016 Jan 21.
64	Kato F, Miura G, Shirato S, Sato E, Yamamoto S	眼科	Correlation between N2 amplitude of multifocal ERGs and retinal sensitivity and retinal nerve fiber layer thickness in glaucomatous eyes	Doc Ophthalmol. 2015 Dec;131(3):197-206
65	Oshitari T, Nonomura S, Arai M, Takatsuna Y, Sato E, Baba T, Yamamoto S	眼科	Effects of sub-Tenon's capsule triamcinolone acetonide injection combined with microaneurysm photocoagulation on diabetic macular edema	Int Med Case Rep J. 2015 Dec 7;8:321-6
66	Miura G, Nakamura Y, Sato E, Yamamoto S	眼科	Effects of cataracts on flicker electroretinograms recorded with RETeval™ system: new mydriasis-free ERG device	BMC Ophthalmol. 2016 Mar 5;16:22
67	Yokouchi H, Baba T, Misawa S, Sawai S, Kitahashi M, Oshitari T, Kuwabara S, Yamamoto S	眼科	Correlation between peripapillary retinal thickness and serum level of vascular endothelial growth factor in patients with POEMS syndrome	Br J Ophthalmol. 2015 Oct 26.
68	Furuya N, Oshitari T, Yotsukura J, Baba T, Yamamoto S	眼科	Relapsing polychondritis with different types of ocular inflammations	Int Med Case Rep J. 2015 Sep 18;8:193-7
69	Bikbova G, Oshitari T, Baba T, Yamamoto S	眼科	Altered Expression of NF-κB and SP1 after Exposure to Advanced Glycation End-Products and Effects of Neurotrophic Factors in AGEs Exposed Rat Retinas	J Diabetes Res. 2015;2015:543818
70	Yokouchi H, Oshitari T, Baba T, Yamamoto S	眼科	Thalidomide reduces choroidal thickness and optic disc edema in a patient with POEMS syndrome	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2015 Jul;253(7):1195-8

71	Cheung GY, Yeh AJ, Kretschmer D, Duong AC, Tufflor K, Fu CL, Joo HS, Diep BA, Li M, Nakamura Y, Nunez G, Peschel A, Otto M.	皮膚科	Functional characteristics of the Staphylococcus aureus $\delta$ -toxin allelic variant G10S.	Sci Rep. 2015;Dec 10;5:18023. doi: 10.1038/srep18023.
72	Kamada S, Sakamoto S, Ando K, Muroi A, Fuse M, Kawamura K, Imamoto T, SuzukiH, Nagata M, Nihei N, Akakura K, Ichikawa T	泌尿器科	Nadir Testosterone after Long-Term Followup Predicts Prognosis in Patients with Prostate Cancer Treated with Combined Androgen Blockade.	J Urol. 194(5) 1264-70 2015 Apr 7
73	Goto Y, Kojima S, Nishikawa R, Kurozumi A, Kato M, Enokida H, Matsushita R, Yamazaki K, Ishida Y, Nakagawa M, Naya Y, Ichikawa T, Seki N.	泌尿器科	MicroRNA xpressionsignature of castration-resistant prostate cancer: the microRNA-221/222 clusterfunctions as a tumour suppressor and disease progression marker	Br J Cancer 113(7) 1055-65 2015 Sep 1
74	Namekawa T, Utsumi T, Kawamura K, Kamiya N, Imamoto T, Takiguchi T, Hashimoto N, Tanaka T, Naya Y, Suzuki H, Ichikawa T.	泌尿器科	Clinical predictors of prolonged postresection hypotension after laparoscopic adrenalectomy for pheochromocytoma.	Surgery 59(3) 763-70 2015 Oct 21
75	Okamoto Y,	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Efficacy and safety of sublingual immunotherapy for two seasons in patients with Japanese cedar pollinosis.	Int Arch Allergy Immunol. 2015;166(3):177-88.
76	Okuma Y,	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Persistent nasal symptoms and mediator release after continuous pollen exposure in an environmental challenge chamber.	Ann Allergy Asthma Immunol. 2016;117, 150-157
77	Sakurai D,	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Sublingual immunotherapy for allergic rhinitis: subjective versus objective tools to evaluate its success.	Rhinology. in press
78	Iinuma T,	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Interleukin-25 and mucosal T cells in noneosinophilic and eosinophilic chronic rhinosinusitis.	Ann Allergy Asthma Immunol. 2015;114(4):289-98.
79	Suzuki T,	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Characteristics of laryngeal symptoms induced in patients with allergic rhinitis in an environmental challenge chamber	Ann Allergy Asthma Immunol 116(6):491-6.
80	Fukumoto I,	耳鼻咽喉・頭頸部外科	MicroRNA expression signature of oral squamous cell carcinoma: functional role of microRNA-26a/b in the modulation of novel cancer pathways	Br J Cancer. 2015; 112(5): 891-900.
81	Inoue Y	小児科	No increase in the serum periostin level is detected in elementary school-age children with allergic diseases.64(3):289-290,2015	Allergol Int.
82	Inoue Y	小児科	Microbiome/microbiota and allergies.37(1):57-64,2015	Semin Immunopathol.
83	Mizuochi H	小児科	Hedgehog signaling is synergistically enhanced by nutritional deprivation and ligands stimulation in human fibroblasts of Gorlin syndrome.457:318-323,2015	Biochem Biophys Res Commun.
84	Naito S	小児科	The impact of heptavalent pneumococcal conjugate vaccine on the incidence of childhood community-acquired pneumonia and bacteriologically confirmed pneumococcal pneumonia in Japan. 30:1-13,2015	Epidemiol Infect.
85	Oda Y, Kanahara N, Iyo M.	精神神経科	Alterations of Dopamine D2 Receptors and Related Receptor-Interacting Proteins in Schizophrenia: The Pivotal Position of Dopamine Supersensitivity Psychosis in Treatment-Resistant Schizophrenia	.Int J Mol Sci. 2015 Dec 17;16(12):30144-63. doi: 10.3390/ijms161226228. Review.
86	Hashimoto T, Sakurai D, Oda Y, Hasegawa T, Kanahara N, Sasaki T, Komatsu H, Takahashi J, Oiwa T, Sekine Y, Watanabe H, Iyo M.	精神神経科	Milnacipran treatment and potential biomarkers in depressed patients following an initial SSRI treatment failure: a prospective, open-label, 24-week study.	Neuropsychiatr Dis Treat. 2015 Dec 10;11:3031-40. doi: 10.2147/NDT.S95067. eCollection 2015.
87	Hashimoto K, Yoshida T, Ishikawa M, Fujita Y, Niitsu T, Nakazato M, Watanabe H, Sasaki T, Shiina A, Hashimoto T, Kanahara N, Hasegawa T, Enohara M, Kimura A, Iyo M.	精神神経科	Increased serum levels of serine enantiomers in patients with depression.	Acta Neuropsychiatr. 2015 Oct 29:1-6. [Epub ahead of print]
88	Sutoh C, Koga Y, Kimura H, Kanahara N, Numata N, Hirano Y, Matsuzawa D, Iyo M, Nakazato M, Shimizu E.	精神神経科	Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation Changes Cerebral Oxygenation on the Left Dorsolateral Prefrontal Cortex in Bulimia Nervosa: A Near-Infrared Spectroscopy Pilot Study.	Eur Eat Disord Rev. 2016 Jan;24(1):83-8. doi: 10.1002/erv.2413. Epub 2015 Oct 20.
89	Oda Y, Kanahara N, Kimura H, Watanabe H, Hashimoto K, Iyo M.	精神神経科	Genetic association between G protein-coupled receptor kinase 6/ $\beta$ -arrestin 2 and dopamine supersensitivity psychosis in schizophrenia.	Neuropsychiatr Dis Treat. 2015 Jul 29;11:1845-51. doi: 10.2147/NDT.S86042. eCollection 2015.
90	Oda Y, Tadokoro S, Takase M, Kanahara N, Watanabe H, Shirayama Y, Hashimoto K, Iyo M.	精神神経科	G protein-coupled receptor kinase 6/ $\beta$ -arrestin 2 system in a rat model of dopamine supersensitivity psychosis.	J Psychopharmacol. 2015 Dec;29(12):1308-13. doi: 10.1177/0269881115593903. Epub 2015 Jul 14.
91	Niitsu T, Fabbri C, Serretti A.	精神神経科	Predictors of switch from depression to mania in bipolar disorder.	J Psychiatr Res. 2015 Jul-Aug;66-67:45-53.
92	Sasaki T, Hashimoto K, Oda Y, Ishima T, Kurata T, Takahashi J, Kamata Y, Kimura H, Niitsu T, Komatsu H, Ishikawa M, Hasegawa T, Shiina A, Hashimoto T, Kanahara N, Shiraishi T, Iyo M.	精神神経科	Decreased levels of serum oxytocin in pediatric patients with Attention Deficit/Hyperactivity Disorder.	Psychiatry Res. 2015 Jun 15. pii: S0165-1781(15)00304-2. doi: 10.1016/j.psychres.2015.05.029. Epub 2015 Jun 15.
93	Shiina A, Iyo M, Hirata T, Igarashi Y.	精神神経科	Audit study of the new hospitalization for assessment scheme for forensic mental health in Japan	.World J Psychiatry. 2015 Jun 22;5(2):234-42. doi: 10.5498/wjp.v5.i2.234.
94	Sasaki T, Iyo M.	精神神経科	Treatment of puberty trichotillomania with low-dose aripiprazole.	Ann Gen Psychiatry. 2015 Jun 17;14:18. doi: 10.1186/s12991-015-0056-0. eCollection 2015.
95	Shirayama Y, Ishima T, Oda Y, Okamura N, Iyo M, Hashimoto K.	精神神経科	Opposite roles for neuropeptide S in the nucleus accumbens and bed nucleus of the stria terminalis in learned helplessness rats.	Behav Brain Res. 2015 May 16;291:67-71. doi: 10.1016/j.bbr.2015.05.007. Epub 2015 May 16.

96	Matsuura A, Fujita Y, Iyo M, Hashimoto K.	精神神経科	Effects of sodium benzoate on pre-pulse inhibition deficits and hyperlocomotion in mice after administration of phencyclidine.	Acta Neuropsychiatr. 2015 Jun;27(3):159-67. doi: 10.1017/neu.2015.1. Epub 2015 Feb 4.
97	Suzuki T, Kanahara N, Yamanaka H, Takase M, Kimura H, Watanabe H, Iyo M.	精神神経科	Dopamine supersensitivity psychosis as a pivotal factor in treatment-resistant schizophrenia.	Psychiatry Res. 2015 Jun 30;227(2-3):278-82. doi: 10.1016/j.psychres.2015.02.021. Epub 2015 Mar 31.
98	Kimura A, Hashimoto T, Niitsu T, Iyo M.	精神神経科	Presence of psychological distress symptoms associated with onset-related life events in patients with treatment-refractory depression.	J Affect Disord. 2015 Apr 1;175:303-9. doi: 10.1016/j.jad.2015.01.027. Epub 2015 Jan 22
99	Shiina A, Kanahara N, Sasaki T, Oda Y, Hashimoto T, Hasegawa T, Yoshida T, Iyo M, Hashimoto K.	精神神経科	An Open Study of Sulforaphane-rich Broccoli Sprout Extract in Patients with Schizophrenia.	Clin Psychopharmacol Neurosci. 2015 Apr 30;13(1):62-7. doi: 10.9758/cpn.2015.13.1.62.
100	Matsumoto J, Hirano Y, Numata N, Matzuzawa D, Murano S, Yokote K, Iyo M, Shimizu E, Nakazato M.	精神神経科	Comparison in decision-making between bulimia nervosa, anorexia nervosa, and healthy women: influence of mood status and pathological eating concerns.	J Eat Disord. 2015 Apr 23;14. doi: 10.1186/s40337-015-0050-6. eCollection 2015.
101	Takase M, Kanahara N, Oda Y, Kimura H, Watanabe H, Iyo M.	精神神経科	Dopamine supersensitivity psychosis and dopamine partial agonist: a retrospective survey of failure of switching to aripiprazole in schizophrenia.	J Psychopharmacol. 2015 Apr;29(4):383-9. doi: 10.1177/0269881115570083. Epub 2015 Mar 3.
102	Takako Nagata, Atsuo Nakagawa, Satoko Matsumoto, Akihiro Shiina, Masaomi Iyo, Naotsugu Hirabayashi, Yoshito Igarashi.	精神神経科	Characteristics of Female Mentally Disordered Offenders Culpable under the New Legislation in Japan: A Gender Comparison Study.	Crim Behav Ment Health. 2015 Mar 10. doi: 10.1002/cbm.1949. [Epub ahead of print]
103	Akihiro Shiina, Masaomi Iyo, Yoshito Igarashi.	精神神経科	Defining outcome measures of hospitalization for assessment in the Japanese forensic mental health scheme: a Delphi study.	Int J Ment Health Syst. 2015 Jan 28;9:7.
104	Asano K, Ishimura I, Abe H, Nakazato M, Nakagawa A, Shimizu E.	精神神経科	Cognitive Behavioral Therapy as the Basis for Preventive Intervention in a Sleep Health Program: A Quasi-Experimental Study of E-Mail Newsletters to College Students.	Open Journal of Medical Psychology. 4, 9-16, 2015.
105	Yamanaka H, Kanahara N, Suzuki T, Takase M, Moriyama T, Watanabe H, Hirata T, Asano M, Iyo M.	精神神経科	Impact of dopamine supersensitivity psychosis in treatment-resistant schizophrenia: An analysis of multi-factors predicting long-term prognosis. Schizophr Res.	2016 Feb;170(2-3):252-8. doi: 10.1016/j.schres.2016.01.013. Epub 2016 Jan 1
106	Isao Miyamoto	歯科・顎・口腔外科	Kinesin family member 14 in human oral cancer: A potential biomarker for tumoral growth	Biochemistry and Biophysics Reports doi:10.1016/j.bbrep.2015.07.008
107	Tomoaki Saito	歯科・顎・口腔外科	Semaphorin7A Promotion of Tumoral Growth and Metastasis in Human Oral Cancer by Regulation of G1 Cell Cycle and Matrix Metalloproteases: Possible Contribution to Tumoral Angiogenesis	PLoS One. 2015 Sep 17;10(9):e0137923.
108	Daisuke Kitajima	歯科・顎・口腔外科	Tie2 Regulates Tumor Metastasis of Oral Squamous Cell Carcinomas	J. Cancer 2016; 7(5): 600-607. doi:10.7150/jca.13820
109	Yasushi Kimura	歯科・顎・口腔外科	ARNT2 Regulates Tumoral Growth in Oral Squamous Cell Carcinoma.	J. Cancer 2016; 7(6): 702-710. doi:10.7150/jca.14208
110	Kasamatsu A	歯科・顎・口腔外科	Maxillary Swelling as the First Evidence of Multiple Myeloma.	Case Rep Dent. 2015;2015:439536. doi: 10.1155/2015/439536.
111	Okamoto A	歯科・顎・口腔外科	Down-Regulation of Nucleolar and Spindle-Associated Protein 1 (NUSAP1) Expression Suppresses Tumor and Cell Proliferation and Enhances Anti-Tumor Effect of Paclitaxel in Oral Squamous Cell Carcinoma.	PLoS One. 2015 Nov 10;10(11):e0142252. doi: 10.1371/journal.pone.0142252.
112	Kasama H	歯科・顎・口腔外科	Adenosine A2b receptor promotes progression of human oral cancer.	BMC Cancer. 2015 Jul 31;15:563. doi: 10.1186/s12885-015-1577-2.
113	Uzawa K	歯科・顎・口腔外科	Quantitative detection of circulating tumor-derived mitochondrial NADH subunit variants as a potential prognostic biomarker for oral cancer.	Int J Oncol. 2015 Sep;47(3):1077-83. doi: 10.3892/ijo.2015.3083.
114	Unozawa M	歯科・顎・口腔外科	Cavin-2 in oral cancer: A potential predictor for tumor progression.	Mol Carcinog. 2015 Jun 18. doi: 10.1002/mc.22347.
115	Shida-Sakazume T	歯科・顎・口腔外科	Lysophosphatidylcholine acyltransferase1 overexpression promotes oral squamous cell carcinoma progression via enhanced biosynthesis of platelet-activating factor.	PLoS One. 2015 Mar 24;10(3):e0120143. doi: 10.1371/journal.pone.0120143
116	Shiiba M	歯科・顎・口腔外科	Interleukin-1 receptor antagonist (IL1RN) is associated with suppression of early carcinogenic events in human oral malignancies.	Int J Oncol. 2015 May;46(5):1978-84. doi: 10.3892/ijo.2015.2917.
117	Koyama T	歯科・顎・口腔外科	ANGPTL3 is a novel biomarker as it activates ERK/MAPK pathway in oral cancer.	Cancer Med. 2015 May;4(5):759-69. doi: 10.1002/cam4.418.
118	Baba T	歯科・顎・口腔外科	Persephin: A potential key component in human oral cancer progression through the RET receptor tyrosine kinase-mitogen-activated protein kinase signaling pathway.	Mol Carcinog. 2015 Aug;54(8):608-17. doi: 10.1002/mc.22127.
119	Hideki Tanzawa	歯科・顎・口腔外科	Targeting gene therapies enhance sensitivity to chemo- and radiotherapy of human oral squamous cell carcinoma	Oral Science International, Volume 12, Issue 2, May 2015, Pages 43-52
120	Daisuke Kitajima	歯科・顎・口腔外科	Decreased expression of Cavin-2 contributes to oral cancer progression.	Oral Science in Japan 2015

121	Nao Koide	齒科・顎・口腔外科	Overexpression of Zic2 family member2 (ZIC2) predicts poor prognosis in human oral squamous cell carcinoma	Oral Science in Japan 2015
122	Isao Miyamoto	齒科・顎・口腔外科	Glutamate acid decarboxylase 1 as a predictor of regional lymph node metastasis in human oral squamous cell carcinoma	Oral Science in Japan 2015
123	Tomoaki Saito	齒科・顎・口腔外科	Overexpression of Lysophosphatidylcholine acyltransferase1 in human oral squamous cell carcinoma: Regulation of platelet-activating factor	Oral Science in Japan 2015
124	Hisayuki Uruno	齒科・顎・口腔外科	Evaluation of effectiveness of perioperative oral care in patients with oral cancer	Oral Science in Japan 2015
125	Yukiko Ishi	齒科・顎・口腔外科	A case of multiple spindle cell lipoma of the tongue	Oral Science in Japan 2015
126	Keitaro Eizuka	齒科・顎・口腔外科	Langerhans cell histiocytosis in oral and maxillofacial region	Oral Science in Japan 2015
127	Isono S, Okazaki J, Sato Y, Ishikawa T, Kato S, Amemiya M, Sato S, Ikeda A,	麻酔科	Submental negative pressure application decreases collapsibility of the passive pharyngeal airway in nonobese women.	J Appl Physiol (1985). 2015 Apr 1;118(7):912-20.
128	Aoe T, Isono S,	麻酔科	Small-Incision Laparoscopy-Assisted Surgery Under Abdominal Cavity Irrigation in a Porcine Model.	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2016 Feb;26(2):122-8.
129	岩立康男	脳神経外科	Molecular imaging of 1p/19q deletion in oligodendroglial tumours with 11C-methionine positron emission tomography.	J Neurol Neurosurg Psychiatry
130	岩立康男	脳神経外科	Intrinsic protective mechanisms of the neuron-glia network against glioma invasion.	J Clin Neurosci
131	岩立康男	脳神経外科	IDH1 mutation is prognostic for diffuse astrocytoma but not low-grade oligodendrogliomas in patients not treated with early radiotherapy.	J Neurooncol
132	樋口佳則	脳神経外科	Gamma knife radiosurgery in movement disorders: Indications and limitations.	Mov Disord
133	Wada H(1), Anayama T(2), Hirohashi K(2), Nakajima T(1), Kato T(2), Waddell TK(2), Keshavjee S(2), Yoshino I(3), Yasufuku K(4).	呼吸器外科	Thoracoscopic ultrasonography for localization of subcentimetre lung nodules.	Eur J Cardiothorac Surg. 2016 Feb;49(2):690-7.
134	Suzuki K(1), Watanabe S(2), Mizusawa J(3), Moriya Y(4), Yoshino I(5), Tsuboi M(6), Mizutani T(3), Nakamura K(3), Tada H(7), Asamura H(2); Japan Lung Cancer Surgical study Group (JCOG LCSSG).	呼吸器外科	Predictors of non-neoplastic lesions in lung tumours showing ground-glass opacity on thin-section computed tomography based on a multi-institutional prospective study	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2015 Aug;21(2):218-23.
135	Tanaka K(1), Nakajima T(2), Morimoto J(1), Yoshino I(1).	呼吸器外科	Right lower sleeve lobectomy with double-barreled bronchoplasty for a centrally located lung cancer.	Ann Thorac Surg. 2015;99(5):1829.
136	Yun T(1), Suzuki H(1), Mizobuchi T(1), Sakairi Y(1), Nagato K(1), Nakajima T(1), Iwata T(1), Yoshida S(1), Nakatani Y(2), Yoshino I(1).	呼吸器外科	Late recurrence of a tumor of Ewing's sarcoma family of tumors: report of a case.	Surg Case Rep. 2015;1(1):37.
137	Nakajima T(1), Geddie W(2), Anayama T(3), Ko HM(2), da Cunha Santos G(2), Boerner S(2), Wang T(4), Wang YH(5), Li M(5), Pham NA(5), Tsao MS(4), Yasufuku K(6).	呼吸器外科	Patient-derived tumor xenograft models established from samples obtained by endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration.	Lung Cancer. 2015 Aug;89(2):110-4.
138	Yamamoto T(1), Suzuki H(2), Nagato K(1), Nakajima T(1), Iwata T(1), Yoshida S(1), Yoshino I(1).	呼吸器外科	Is left upper lobectomy for lung cancer a risk factor for cerebral infarction?	Surg Today. 2016 Jul;46(7):780-4.
139	Nakajima T(1), Inage T, Sata Y, Morimoto J, Tagawa T, Suzuki H, Iwata T, Yoshida S, Nakatani Y, Yoshino I.	呼吸器外科	Elastography for Predicting and Localizing Nodal Metastases during Endobronchial Ultrasound.	Respiration. 2015;90(6):499-506.
140	Iwata T(1), Nagato K(2), Nakajima T(2), Suzuki H(2), Yoshida S(2), Yoshino I(2).	呼吸器外科	Risk factors predictive of atrial fibrillation after lung cancer surgery.	Surg Today. 2016 Aug;46(8):877-86.
141	Iwata T(1), Yoshida S(2), Nagato K(3), Nakajima T(3), Suzuki H(3), Tagawa T(3), Mizobuchi T(3), Ota S(4), Nakatani Y(4), Yoshino I(3).	呼吸器外科	Experience with perioperative pirfenidone for lung cancer surgery in patients with idiopathic pulmonary fibrosis.	Surg Today. 2015 Oct;45(10):1263-70.
142	Yun T(1), Suzuki H(2), Tagawa T(2), Iwata T(2), Mizobuchi T(2), Yoshida S(2), Yamazaki M(3), Yoshino I(2).	呼吸器外科	Cavernous hemangioma of the posterior mediastinum with bony invasion.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2016 Jan;64(1):43-6.
143	Nakajima T(1), Shingyoji M(2), Anayama T(3), Kimura H(4), Yasufuku K(5), Yoshino I(6).	呼吸器外科	Spectrum Analysis of Endobronchial Ultrasound Radiofrequency of Lymph Nodes in Patients With Lung Cancer.	Chest. 2016 Jun;149(6):1393-9.
144	Yamamoto T(1), Nakajima T(2), Suzuki H(1), Tagawa T(1), Iwata T(1), Mizobuchi T(1), Yoshida S(1), Nakatani Y(3), Yoshino I(1).	呼吸器外科	Surgical treatment of mucoepidermoid carcinoma of the lung: 20 years' experience.	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2016 Mar;24(3):257-61.
145	Tanabe N, Taniguchi H, Tsujino I, Sakamaki F, Emoto N, Kimura H, Takamura K, Hanaoka M, Nishimura M, Tatsumi K; JRS Lung Disease PH Study Group.	呼吸器内科	Multi-institutional retrospective cohort study of patients with severe pulmonary hypertension associated with respiratory diseases.	Respirology. 2015;20:805-812.

146	Tada Y, Hiroshima K, Shimada H, Morishita N, Shirakawa T, Shingyoji M, Sekine I, Tatsumi K, Tagawa M.	呼吸器内科	A clinical protocol to inhibit the HGF/c-Met pathway for malignant mesothelioma with an intrapleural injection of adenoviruses expressing the NK4 gene.	Springerplus. 2015;4:358.
147	Sakao,S, Sakurai T, Yahaba M, Sakurai Y, Terada J, Tanabe N, Tatsumi K.	呼吸器内科	Features of REM-related sleep disordered breathing in the Japanese population.	Intern Med. 2015;54:1481-1487.
148	Sakao S, Miyauchi H, Voelkel NF, Sugiura T, Tanabe N, Kobayashi Y, Tatsumi K.	呼吸器内科	Increased right ventricular fatty acid accumulation in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Ann Am Thorac Soc. 2015;12:1465-1472.
149	Swastika W, Onishi T, Haneishi H, Masuda Y, Kawata N, Matsumoto K, Suzuki T, Iesato K, Tada Y, Sugiura T, Tanabe N, Tatsumi K.	呼吸器内科	Evaluation of COPD's diaphragm motion extracted from 4D-MRI.	Medical Imaging. 2015; doi:10.1117/12.2081090.
150	Ikari J, Lynette M. Smith, Amy J. Nelson, Iwasawa S, Gunji Y, Farid M, Wang X, Basma H, Feghali-Bostwick C, Liu L X, De Meo DL, Rennard SI.	呼吸器内科	Effect of culture conditions on microRNA expression in primary adult control and COPD lung fibroblasts in vitro.	In Vitro Cellular & Developmental Biology Animal. 2015;51:390-399.
151	Yanagawa N, Kawata N, Matsuura Y, Sugiura T, Suzuki T, Kasai H, Irie R, Iesato K, Tada Y, Tanabe N, Suzuki Y, Tatsumi K.	呼吸器内科	Effect of threshold on the correlation between airflow obstruction and low attenuation volume in smokers assessed by inspiratory and expiratory MDCT.	Acta Radiologica. 2015;56:438-446
152	Jujo T, Sakao S, Ishibashi-Ueda H, Ishida K, Naito A, Sugiura T, Shigeta A, Tanabe N, Masuda M, Tatsumi K.	呼吸器内科	Evaluation of the microcirculation in chronic thromboembolic pulmonary hypertension patients: The impact of pulmonary arterial remodeling on postoperative and follow-up pulmonary arterial pressure and vascular resistance.	PLoS One. 2015;10:e0133167
153	Kawasaki T, Nishiwaki T, Sekine A, Nishimura R, Suda R, Urushibara T, Suzuki T, Takayanagi S, Terada J, Sakao S, Tatsumi K.	呼吸器内科	Vascular repair by tissue-resident endothelial progenitor cells in endotoxin-induced lung injury.	Am J Respir Cell Mol Biol. 2015;53:500-512
154	Nishimura R, Nishiwaki T, Kawasaki T, Sekine A, Suda R, Urushibara T, Suzuki T, Takayanagi S, Terada J, Sakao S, Tatsumi K.	呼吸器内科	Hypoxia-induced proliferation of tissue-resident endothelial progenitor cells in the lung.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 2015;308:L746-758.
155	Kasai H, Matsumura A, Sugiura T, Shigeta A, Tanabe N, Ema R, Sakurai Y, Yahaba M, Matsuura Y, Kawata N, Sakao S, Tatsumi K.	呼吸器内科	Noninvasive assessment of pulmonary vascular resistance by echocardiography in chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Respir Investig. 2015;53:210-216.
156	Urushibara T, Tanabe N, Suda R, Kato F, Kasai H, Takeuchi T, Sekine A, Nishimura R, Jujo T, Sugiura T, Shigeta A, Sakao S, Kasahara Y, Tatsumi K.	呼吸器内科	Effects of surgical and medical treatment on quality of life for patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	Circ J. 2015;79:2696-2702.
157	Abe M, Tsushima K, Matsumura T, Ishiwata T, Ichimura Y, Ikari J, Terada J, Tada Y, Sakao S, Tanabe N, Tatsumi K.	呼吸器内科	Efficacy of thrombomodulin for acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis and nonspecific interstitial pneumonia: a nonrandomized prospective study.	Drug Des Devel Ther. 2015; 9:5755-5762.
158	Suzuki T, Tada Y, Kawata N, Matsuura Y, Ikari J, Kasahara Y, Tatsumi K.	呼吸器内科	Clinical, physiological, and radiological features of asthma-chronic obstructive pulmonary disease overlap syndrome.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2015;10:947-954.
159	Suzuki T, Tsushima K, Kawata N, Matsumura T, Matsuura Y, Ichimura Y, Terada J, Sakao S, Tada Y, Tanabe N, Tatsumi K.	呼吸器内科	Estimation using the impulse oscillation system in patients with pulmonary sarcoidosis.	Sarcoidosis Vase Diffuse Lung Dis. 2015;32:144-150.
160	Suzuki T, Tada Y, Kawata N, Ikari J, Kasahara Y, Sakurai Y, Iesato K, Nishimura R, West J, Tatsumi K.	呼吸器内科	Influence of pulmonary emphysema on COPD assessment test-oriented categorization in GOLD document.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2015;10:1199-1205.
161	Kobayashi T, Tanaka K, Fujita T, Umezawa H, Amano H, Yoshioka K, Naito Y, Hatano M, Kimura S, Tatsumi K, Kasuya Y.	呼吸器内科	Bidirectional role of IL-6 signal in pathogenesis of lung fibrosis.	Respir Res. 2015;16:99.
162	Haga T, Fukuoka M, Morita M, Cho K, Tatsumi K.	呼吸器内科	Radiographic evaluation of nursing- and healthcare-associated pneumonia.	Geriatr Gerontol Int. 2015 Dec 4. [Epub ahead of print]
163	Haga T, Fukuoka M, Morita M, Cho K, Tatsumi K.	呼吸器内科	A prospective analysis of the efficacy and complications associated with deep sedation with midazolam during fiberoptic bronchoscopy.	J Bronchology Interv Pulmonol. 2016;23:106-111.
164	Sakurai T, Iesato K, Sakao S, Saito K, Tatsumi K, Shirasawa H.	呼吸器内科	Lysozyme hydrochloride inhibits cytokines in epithelial cells with respiratory syncytial virus infection: a brief report.	Int J Pharm Sci Drug Res. 2015;7:126-128.
165	Kawamura K, Wada A, Wang JY, Li Q, Ishii A, Tsujimura H, Takagi T, Itami M, Tada Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Tagawa M.	呼吸器内科	Expression of activation-induced cytidine deaminase is associated with a poor prognosis of diffuse large B cell lymphoma patients treated with CHOP-based chemotherapy.	J Cancer Res Clin Oncol. 2016;142:27-36.
166	Amata A, Chonan T, Omae K, Nodera H, Terada J, Tatsumi K.	呼吸器内科	High levels of indium exposure relate to progressive emphysematous changes: a 9-year longitudinal surveillance of indium workers.	Thorax. 2015;70:1040-1046.
167	Takei Y, Okamoto S, Kawamura K, Jiang Y, Morinaga T, Shingyoji M, Sekine I, Kubo S, Tada Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Yamaguchi N, Tagawa M.	呼吸器内科	Expression of p53 synergistically augments caspases-mediated apoptosis induced by replication-competent adenoviruses in pancreatic carcinoma cells.	Cancer Gene Ther. 2015;22:445-453.
168	Yamagata M, Ikeda K, Tsushima K, Iesato T, Abe M, Ito T, Kashiwakura D, Kagami S, Iwamoto I, Nakagomi D, Sugiura T, Maruyama Y, Furuta S, Jayne D, Uno T, Tatsumi K, Nakajima H.	呼吸器内科	Prevalence and responsiveness to treatment of lung abnormalities on chest computed tomography in patients with microscopic polyangiitis—a multicenter, longitudinal, retrospective study of 150 hospital-based consecutive Japanese patients.	Arthritis Rheumatol. 2016;68:713-23.
169	Yamauchi S, Kawamura K, Okamoto S, Morinaga T, Jiang Y, Shingyoji M, Sekine I, Kubo S, Tada Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Tagawa M.	呼吸器内科	Replication-competent adenoviruses with the type 35-derived fiber-knob region achieve reactive oxygen species-dependent cytotoxicity and produce greater toxicity than those with the type5-derived region in pancreatic carcinoma.	Apoptosis. 2015;20:1587-1598.
170	Fukuoka M, Kurihara M, Haga T, Ebana H, Kataoka H, Mizobuchi T, Tatsumi K.	呼吸器内科	Clinical characteristics of catamenial and non-catamenial thoracic endometriosis-related pneumothorax.	Respirology. 2015;20:1272-1276.

171	Koizumi T, Tsushima K, Tanabe T, Agatsuma T, Yokoyama T, Ito M, Kanda S, Kobayashi T, Yasuo M.	呼吸器内科	Bronchoscopy-guided cooled radiofrequency ablation as a novel intervention therapy for peripheral lung cancer.	Respiration. 2015;90:47-55.
172	Yoshida Y, Singyoji M, Ashinuma H, Itakura M, Iizasa T, Tatsumi K.	呼吸器内科	Successful diagnosis of a thymoma by endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration: a report of two cases.	Intern Med. 2015;54:2735-2739.
173	Saito H, Yamaguchi T, Adachi Y, Yamashita T, Wakai Y, Saito K, Shinohara Y, Suzuki K, Yagihashi S, Terada J, Tatsumi K.	呼吸器内科	Neurological symptoms of sarcoidosis-induced small fiber neuropathy effectively relieved with high-dose steroid pulse therapy.	Intern Med. 2015;54:1281-1286.
174	Hayashida M, Yasuo M, Hanaoka M, Seyama K, Inoue Y, Tatsumi K, Mishima M, Respiratory Failure Research Group of the Ministry of Health, Labour, and Welfare, Japan.	呼吸器内科	Reductions in pulmonary function detected in patients with lymphangioleiomyomatosis: an analysis of the Japanese national research project on intractable diseases database.	Respir Investig. Epub 2015 Dec 22.
175	Shinomura H, Andachi S, Aono T, Kigure A, Yamamoto Y, Miyajima A, Hirota T, Imanaka K, Majima T, Masuyama H, Tatsumi K.	呼吸器内科	Serum concentrations of clarithromycin and rifampicin in pulmonary Mycobacterium avium complex disease: long-term changes due to drug interactions and their association with clinical outcomes.	J Pharm Health Care Sci. 2015;1:32
176	Kurimoto R, Iwasawa S, Ebata T, Ishiwata T, Sekina I, Tada Y, Tatsumi K, Koide S, Iwama A, Takiguchi Y.	呼吸器内科	Drug resistance originating from a TGF- $\beta$ /FGF-2-driven epithelial-to-mesenchymal transition and its reversion in human lung adenocarcinoma cell lines harboring an EGFR mutation.	Int J Oncol. [In press]
177	Kurimoto R, Ikeda K, Nakagomi D, Nakajima H.	呼吸器内科	Eosinophilic fasciitis illustrated by [18F] FDG-PET/CT.	Intern Med. [In press]
178	Kurimoto R, Iwasawa S, Ebata T, Ishiwata T, Tada Y, Tatsumi K, Takiguchi Y.	呼吸器内科	Pirfenidone in reversion of the epithelial-to-mesenchymal transition in human lung adenocarcinoma.	Oncology Letters. [In press]
179	Zhong B, Ma G, Sato A, Shimozato O, Liu H, Li Q, Shingyoji M, Tada Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Tagawa M.	呼吸器内科	Fas ligand DNA enhances a vaccination effect by co-administered DNA encoding a tumor antigen through augmenting production of antibody against the tumor antigen.	J Immunol Res. 2015;743828
180	Quanjer P.H., Kubota M, Kobayashi H, Omori H, Tatsumi K, Kanazawa M, Stanojevic S, Stocks J, Cole T.J.	呼吸器内科	Secular changes in relative leg length confound height-Based spirometric reference values.	Chest. 2015;147:792-796.
181	Li Q, Sato A, Shimozato O, Shingyoji M, Tada Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Tagawa M.	呼吸器内科	Administration of DNA encoding the interleukin-27 gene augments anti-tumor responses through non-adaptive immunity.	Scand J Immunol. 2015;82:320-327.
182	Ma G, Zhong B, Okamoto S, Jiang Y, Kawamura K, Liu H, Li Q, Shingyoji M, Sekine I, Tada Y, Tatsumi K, Shimada H, Hiroshima K, Tagawa M.	呼吸器内科	A combinatory use of adenoviruses expressing melanoma differentiation-associated gene-7 and replication-competent adenoviruses produces synergistic effects on pancreatic carcinoma cells.	Tumour Biol. 2015;36:8137-8145.
183	Yang S, Kawamura K, Okamoto S, Yamauchi S, Shingyoji M, Sekine I, Kobayashi H, Tada Y, Tatsumi K, Hiroshima K, Shimada H, Tagawa M.	呼吸器内科	Cytotoxic effects of replication-competent adenoviruses on human esophageal carcinoma are enhanced by forced p53 expression.	BMC Cancer. 2015;15:464.
184	Ashinuma H, Shingyoji M, Yoshida Y, Itakura M, Ishibashi F, Tamura H, Moriya Y, Itami M, Tatsumi K, Iizasa T.	呼吸器内科	Endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration in a patient with pericardial mesothelioma.	Intern Med. 2015; 54: 43-48.
185	Kurimoto R, Sekine I, Iwasawa S, Sakaide E, Tada Y, Tatsumi K, Takahashi Y, Nakatani Y, Imai C, Takiguchi Y.	呼吸器内科	Alveolar hemorrhage associated with pemetrexed administration.	Intern Med. 2015;54:833-836.
186	Tada Y, Suzuki T, Shimada H, Hiroshima K, Tatsumi K, Tagawa M.	呼吸器内科	Molecular-targeted therapy for malignant mesothelioma.	Pleura. 2015; 1-11.
187	Sakao S, Voelkel NF, Tanabe N, Tatsumi K.	呼吸器内科	Determinants of an elevated pulmonary arterial pressure in patients with pulmonary arterial hypertension.	Respiratory Research. 2015;16:84-89.
188	Felty Q, Sakao S, Voelkel NF.	呼吸器内科	Pulmonary Arterial Hypertension: A Stem Cell Hypothesis.	Stem Cell Biology and Regenerative Medicine, Lung Stem Cells in the Epithelium and Vasculature 2015;289-306.
189	Saito T	小児外科	Evidence for viral infection as a causative factor of human biliary atresia.	J Pediatr Surg. 2015;50:1398-404
190	Terui K	小児外科	Endoscopic management for congenital esophageal stenosis: A systematic review	World J Gastrointest Endosc. 2015;7:183-91
191	Mitsunaga T	小児外科	Risk Factors for Intestinal Obstruction After Ladd Procedure	Pediatr Rep. 2015;7:5795
192	Terui K	小児外科	Surgical approaches for neonatal congenital diaphragmatic hernia: a systematic review and meta-analysis	Pediatr Surg Int. 2015;31:891-7
193	Nakata M	小児外科	Hybrid video-assisted thoracoscopic surgery lobectomy of fissureless congenital cystic adenomatoid malformation: a case report	J Med Case Rep. 2015;5:23
194	Kuwabara S	神経内科	Acquired and genetic channelopathies: in vivo assessment of axonal excitability.	Experimental neurology 2015;263:368-371
195	Kuwabara S	神経内科	Paranodal destruction and axo-glial dysjunction in a subtype of CIDP with anti-contaction-1 antibodies.	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2015;86(7):707

196	Masuda H	神経内科	The role of granulocyte-macrophage colony-stimulating factor in the pathogenesis of neuromyelitis optica: A white or black knight?	clinical and experimental neuroimmunology 2015; 6( S1):70-77
197	Anupama Poudel	神経内科	Skin sympathetic function in complex regional pain syndrome type 1.	Clin Auton Res 2015;25(6):367-71
198	Beppu M	神経内科	Autoantibodies against vinculin in patients with chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy	Journal of Neuroimmunology 2015;287: 9-15
199	Furukawa S	神経内科	Metronidazole-induced encephalopathy with contrast enhancing lesions on MRI.	Journal of the Neurological Sciences 2015;352(1-2):129-131.
200	Kuwabara S	神経内科	Different electrophysiological profiles and treatment response in 'typical' and 'atypical' chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2015;86(10):1054-59
201	Masuda H	神経内科	Difference in recovery from optic neuritis between neuromyelitis optica and multiple sclerosis patients	Multiple sclerosis journal 2015;23(S11):342.
202	Masuda H	神経内科	Validation of the Japanese version of the Modified Fatigue Impact Scale and assessment of the effect of pain on scale responses in patients with multiple sclerosis.	Clinical & Experimental Neuroimmunology 2015;6(4):409-412
203	Masuda H	神経内科	Combined nerve/muscle/skin biopsy could increase diagnostic sensitivity for vasculitic neuropathy	Clinical & Experimental Neuroimmunology 2015;6(3):312-7
204	Masuda H	神経内科	Congress report of the 31st Congress of the European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis in Barcelona	Clinical and Experimental Neuroimmunology 2016;(7)1:91-93
205	Masuda H	神経内科	Bilateral Foot Acrocyanosis in an Interferon- $\beta$ -treated MS Patient.	Internal medicine 2016;55(3):319
206	Masuda H	神経内科	Serum antinuclear antibody may be associated with less severe disease activity in neuromyelitis optica.	European Journal of Neurology 2016;23(2):276-81
207	Misawa S	神経内科	Vascular endothelial growth factor as a predictive marker for POEMS syndrome treatment response: retrospective cohort study.	BMJ Open. 2015;5(11):e009157
208	Uchida T	神経内科	Change in vital signs after fingolimod initiation in patients with multiple sclerosis: the possible need for 24 h monitoring.	British Journal of Clinical Pharmacology 2015;80(3):607-8
209	Uzawa A	神経内科	Increased serum peroxiredoxin 5 levels in myasthenia gravis.	Journal of Neuroimmunology 2015;287:16-8
210	Uzawa A	神経内科	Benign neuromyelitis optica is rare in Japanese patients.	Multiple Sclerosis Journal 2015;21(9):1204-8
211	Uzawa A	神経内科	Serum high mobility group box 1 is upregulated in myasthenia gravis.	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2015;86:695-697
212	Uzawa A	神経内科	Two-year outcome of thymectomy in non-thymomatous late-onset myasthenia gravis	Journal of Neurology 2015;262(4):1019-23
213	Uzawa A	神経内科	Increased levels of CSF CD59 in neuromyelitis optica and multiple sclerosis.	Clinica Chimica Acta 2016;453:131-133
214	Yamamoto T	神経内科	Subthalamic Nucleus Deep Brain Stimulation Modulate Catecholamine Levels with Significant Relations to Clinical Outcome after Surgery in Patients with Parkinson's Disease.	Plos one 2015;10(9):e0138462
215	Yamamoto T	神経内科	Urinary Dysfunction in Progressive Supranuclear Palsy Compared with Other Parkinsonian Disorders.	PLOS ONE 2016;11(2):e0149278
216	Yamamoto T	神経内科	Urinary symptoms and neurological disabilities are differentially correlated between multiple sclerosis and neuromyelitis optica	Clinical & Experimental Neuroimmunology 2016;7(1):52-58
217	石和田 稔彦	感染症内科	The First Case of Invasive Mixed-Mold Infections Due to Emericella nidulans var. echinulata and Rasamsonia piperina in a Patient with Chronic Granulomatous Disease.	Mycopathologia
218	石和田 稔彦	感染症内科	Linezolid-resistant Staphylococcus epidermidis associated with long-term, repeated linezolid use in a pediatric patient.	J Infect Chemother
219	猪狩 英俊	感染症内科	Advanced stage of chronic kidney disease is risk of poor treatment outcome for smear-positive pulmonary tuberculosis.	J Infect Chemother
220	渡邊 哲	感染症内科	Risk of developing active tuberculosis in rheumatoid arthritis patients on adalimumab in Japan.	Int J Tuberc Lung Dis

221	Kondo T	総合診療科	Madelung's disease.	BMJ 2015; 351: 4162.
222	Takada T	総合診療科	Limitation of imaging diagnosis for psoas abscess at an early stage.	Intern Med 2015; 54(20): 2589-93.
223	Hirose Y	総合診療科	Surfer's ear.	J Gen Intern Med 2015.
224	Kondo T	総合診療科	Three month isolated digital gangrene as an initial manifestation of classic polyarteritis nodosa.	Rheumatol 2015; 54(8): 1384-.
225	Shikino K	総合診療科	Fever and Back Pain with Abdominal Aorta Tenderness: Takayasu Arteritis.	Am J Med 2015; 128(9): e17-18.
226	Suzuki S	総合診療科	Finger stiffness or edema as presenting symptoms of eosinophilic fasciitis.	Rheumatol Int 2015; 35(10): 1769-72.
227	Suzuki S	総合診療科	Orchialgia Presenting with Lower Quadrant Pain in Sitting.	Am J Med 2015; 128(12): e27.
228	Kondo T	総合診療科	Fever and generalized erythema caused by subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma.	Pol Arch Med Wewn 2015; 125(11): 867-8.
229	Shikino K	総合診療科	Split Hand Syndrome and Syndrome of Inappropriate Antidiuretic Hormone.	Mayo Clin Proc 2016; 91(1): 124.
230	Shikino K	総合診療科	Oedema and thoracoepigastric vein dilation on bilateral legs: adrenal gland tumour with inferior vena cava tumour thrombus.	BMJ Case Rep 2016.
231	Shikino K	総合診療科	Catamenial Pneumothorax.	J Gen Intern Med 2016.
232	Tawada A, Kanda T, Imazeki F, Yokosuka O.	消化器内科	Prevention of hepatitis B virus-associated liver diseases by antiviral therapy.	Hepatol Int. 2016
233	Maruyama H, Kiyono S, Kondo T, Sekimoto T, Yokosuka O.	消化器内科	Palmitate-induced Regulation of PPAR $\gamma$ via PGC1 $\alpha$ : a Mechanism for Lipid Accumulation in the Liver in Nonalcoholic Fatty Liver Disease.	Int J Med Sci. 2016
234	Tawada A, Chiba T, Saito T, Ogasawara S, Suzuki E, Ooka Y, Arai M, Kanda T, Shinozaki M, Goto N, Nagashima K, Yokosuka O.	消化器内科	Utility of Prediction Scores for Hepatocellular Carcinoma in Patients with Chronic Hepatitis B Treated with Nucleos(t)ide Analogues.	Oncology. 2016
235	Kobayashi K, Maruyama H, Kiyono S, Sekimoto T, Kondo T, Shimada T, Takahashi M, Okugawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Portal response related to shunt occlusion by balloon-occluded retrograde transvenous obliteration may determine the prognosis of cirrhosis.	Hepatol Res. 2016
236	Nakamura M, Kanda T, Haga Y, Sasaki R, Wu S, Nakamoto S, Yasui S, Arai M, Imazeki F, Yokosuka O.	消化器内科	Sofosbuvir treatment and hepatitis C virus infection.	World J Hepatol. 2016
237	Fujiwara K, Yasui S, Yonemitsu Y, Arai M, Kanda T, Fukuda Y, Nakano M, Oda S, Yokosuka O.	消化器内科	Analysis of infectious complications and timing for emergency liver transplantation in autoimmune acute liver failure.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016
238	Kiyono S, Maruyama H, Kondo T, Sekimoto T, Shimada T, Takahashi M, Yokosuka O.	消化器内科	Hemodynamic effect of the left gastric artery on esophageal varices in patients with cirrhosis.	J Gastroenterol. 2016
239	Ogasawara S, Chiba T, Ooka Y, Suzuki E, Kanogawa N, Saito T, Motoyama T, Tawada A, Kanai F, Yokosuka O.	消化器内科	Post-progression survival in patients with advanced hepatocellular carcinoma resistant to sorafenib.	Invest New Drugs. 2016
240	Fujiwara K, Fukuda Y, Seza K, Saito M, Yasui S, Nakano M, Yokosuka O.	消化器内科	High level of persistent liver injury is one of clinical characteristics in treatment-naïve acute onset autoimmune hepatitis: experience in a community hospital.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016
241	Sasaki R, Kanda T, Nakamura M, Nakamoto S, Haga Y, Wu S, Shirasawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Possible Involvement of Hepatitis B Virus Infection of Hepatocytes in the Attenuation of Apoptosis in Hepatic Stellate Cells.	PLoS One. 2016
242	Maruyama H, Shiha G, Yokosuka O, Kumar A, Sharma BC, Ibrahim A, Saraswat V, Lesmana CR, Omata M.	消化器内科	Non-invasive assessment of portal hypertension and liver fibrosis using contrast-enhanced ultrasonography.	Hepatol Int. 2016
243	Maruyama H, Sekimoto T, Yokosuka O.	消化器内科	Role of contrast-enhanced ultrasonography with Sonazoid for hepatocellular carcinoma: evidence from a 10-year experience.	J Gastroenterol. 2016
244	Haga Y, Kanda T, Sasaki R, Nakamura M, Nakamoto S, Yokosuka O.	消化器内科	Nonalcoholic fatty liver disease and hepatic cirrhosis: Comparison with viral hepatitis-associated steatosis.	World J Gastroenterol. 2015
245	Nakamura M, Kanda T, Sasaki R, Haga Y, Jiang X, Wu S, Nakamoto S, Yokosuka O.	消化器内科	MicroRNA-122 Inhibits the Production of Inflammatory Cytokines by Targeting the PKR Activator PACT in Human Hepatic Stellate Cells.	PLoS One. 2015

246	Kanda T, Nakamoto S, Wu S, Nakamura M, Jiang X, Haga Y, Sasaki R, Yokosuka O.	消化器内科	Direct-acting Antivirals and Host-targeting Agents against the Hepatitis A Virus.	J Clin Transl Hepatol. 2015
247	Nakagawa T, Katsuno T, Noguchi Y, Mandai Y, Yoshihama S, Saito K, Maruoka D, Matsumura T, Arai M, Yokosuka O.	消化器内科	Irsogladine Maleate Prevents Colitis in Interleukin-10 Gene-Deficient Mice by Reducing Interleukin-12 and -23 Production.	Biol Pharm Bull. 2015
248	Suzuki E, Chiba T, Ogasawara S, Saito T, Kanogawa N, Motoyama T, Ooka Y, Tawada A, Maruyama H, Ogawa M, Yokosuka O.	消化器内科	Tolvaptan treatment for patients with decompensated cirrhosis and advanced hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2015
249	Kondo T, Maruyama H, Kiyono S, Sekimoto T, Shimada T, Takahashi M, Okugawa H, Yokosuka O, Kawahira H, Yamaguchi T.	消化器内科	Eradication of esophageal varices by sclerotherapy combined with argon plasma coagulation: Effect of portal hemodynamics and longitudinal clinical course.	Dig Endosc. 2016
250	Matsumura T, Arai M, Ishigami H, Okimoto K, Saito K, Minemura S, Maruoka D, Nakagawa T, Katsuno T, Yokosuka O.	消化器内科	A randomized controlled trial comparing a prepackaged low-residue diet with a restricted diet for colonoscopy preparation: the impact on the results of colonoscopy in adenoma detection.	Colorectal Dis. 2016
251	Sakai Y, Tsuyuguchi T, Nishikawa T, Sugiyama H, Sasaki R, Sakamoto D, Watanabe Y, Nakamura M, Yasui S, Mikata R, Yokosuka O.	消化器内科	New tapered metallic stent for unresectable malignant hilar bile duct obstruction.	World J Clin Cases. 2015
252	Maruoka D, Arai M, Ishigami H, Okimoto K, Matsumura T, Nakagawa T, Yokosuka O.	消化器内科	Cold polypectomy for nonampullary duodenal adenoma.	Endoscopy. 2015
253	Ogasawara S, Chiba T, Ooka Y, Suzuki E, Kanogawa N, Saito T, Motoyama T, Tawada A, Kanai F, Yokosuka O.	消化器内科	Liver function assessment according to the Albumin-Bilirubin (ALBI) grade in sorafenib-treated patients with advanced hepatocellular carcinoma.	Invest New Drugs. 2015
254	Fujiwara K, Yasui S, Yokosuka O.	消化器内科	Corticosteroid and nucleoside analogue for hepatitis B virus-related acute liver failure.	World J Gastroenterol. 2015
255	Kanda T, Sasaki R, Nakamoto S, Haga Y, Nakamura M, Shirasawa H, Okamoto H, Yokosuka O.	消化器内科	The sirtuin inhibitor sirtinol inhibits hepatitis A virus (HAV) replication by inhibiting HAV internal ribosomal entry site activity.	Biochem Biophys Res Commun. 2015
256	Kondo T, Maruyama H, Kiyono S, Sekimoto T, Shimada T, Takahashi M, Ogasawara S, Suzuki E, Ooka Y, Tawada A, Chiba T, Kanai F, Yokosuka O.	消化器内科	Intensity-Based Assessment of Microbubble-Enhanced Ultrasonography: Phase-Related Diagnostic Ability for Cellular Differentiation of Hepatocellular Carcinoma.	Ultrasound Med Biol. 2015
257	Nakamoto S, Imazeki F, Arai M, Yasui S, Nakamura M, Haga Y, Sasaki R, Kanda T, Shirasawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Effect of Hepatitis C Virus Genotype 1b Core and NS5A Mutations on Response to Peginterferon Plus Ribavirin Combination Therapy.	Int J Mol Sci. 2015
258	Kondo T, Maruyama H, Sekimoto T, Shimada T, Takahashi M, Okugawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Impact of portal hemodynamics on Doppler ultrasonography for predicting decompensation and long-term outcomes in patients with cirrhosis.	Scand J Gastroenterol. 2016
259	Nishikawa T, Shimura K, Tsuyuguchi T, Kiyono S, Yokosuka O.	消化器内科	Contrast-enhanced harmonic EUS of pancreatic schwannoma.	Gastrointest Endosc. 2016
260	Sekimoto T, Maruyama H, Kobayashi K, Kiyono S, Kondo T, Shimada T, Takahashi M, Yokosuka O.	消化器内科	Well-tolerated portal hypertension and favorable prognosis in adult patients with extrahepatic portal vein obstruction in Japan.	Hepatol Res. 2016
261	Sugiyama H, Tsuyuguchi T, Sakai Y, Mikata R, Yasui S, Watanabe Y, Sakamoto D, Nakamura M, Sasaki R, Senoo J, Kusakabe Y, Hayashi M, Yokosuka O.	消化器内科/ 光学医療診療部	Current status of preoperative drainage for distal biliary obstruction.	World J Hepatol. 2015 Aug 28;7(18):2171-6. doi: 10.4254/wjh.v7.i18.2171.
262	Fujiwara K, Yasui S, Yokosuka O.	消化器内科	Appropriate diagnostic criteria for fulminant autoimmune hepatitis.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2015
263	Kanda T, Nakamoto S, Yokosuka O.	消化器内科	Is the use of IL28B genotype justified in the era of interferon-free treatments for hepatitis C?	World J Virol. 2015
264	Kanda T, Nakamura M, Sasaki R, Yasui S, Nakamoto S, Haga Y, Jiang X, Wu S, Tawada A, Arai M, Imazeki F, Yokosuka O.	消化器内科	Sustained Virological Response after 8-Week Treatment of Simeprevir with Peginterferon 47-2a plus Ribavirin in a Japanese Female with Hepatitis C Virus Genotype 1b and IL28B Minor Genotype.	Case Rep Gastroenterol. 2015
265	Kondo T, Maruyama H, Sekimoto T, Shimada T, Takahashi M, Yokosuka O.	消化器内科	Reversed portal flow: Clinical influence on the long-term outcomes in cirrhosis.	World J Gastroenterol. 2015
266	Suzuki E, Chiba T, Ooka Y, Ogasawara S, Tawada A, Motoyama T, Kanogawa N, Saito T, Yoshikawa M, Yokosuka O.	消化器内科	Transcatheter arterial infusion for advanced hepatocellular carcinoma: Who are candidates?	World J Gastroenterol. 2015
267	Chiba T, Suzuki E, Saito T, Ogasawara S, Ooka Y, Tawada A, Iwama A, Yokosuka O.	消化器内科	Biological features and biomarkers in hepatocellular carcinoma.	World J Hepatol. 2015
268	Kanda T, Ogasawara S, Chiba T, Haga Y, Omata M, Yokosuka O.	消化器内科	Current management of patients with hepatocellular carcinoma.	World J Hepatol. 2015
269	Sasaki R, Kanda T, Wu S, Nakamoto S, Haga Y, Jiang X, Nakamura M, Shirasawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Association between hepatitis B virus and MHC class I polypeptide-related chain A in human hepatocytes derived from human-mouse chimeric mouse liver.	Biochem Biophys Res Commun. 2015
270	Maruyama H, Kondo T, Sekimoto T, Kiyono S, Shimada T, Takahashi M, Okugawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Hyponatremia: a significant factor in a poor prognosis for cirrhosis with Child A/B after variceal eradication.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015

271	Jiang X, Kanda T, Wu S, Nakamoto S, Nakamura M, Sasaki R, Haga Y, Wakita T, Shirasawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Hepatitis C Virus Nonstructural Protein 5A Inhibits MG132-Induced Apoptosis of Hepatocytes in Line with NF- $\kappa$ B-Nuclear Translocation.	PLoS One. 2015
272	Maruyama H, Kondo T, Sekimoto T, Yokosuka O.	消化器内科	Differential Clinical Impact of Ascites in Cirrhosis and Idiopathic Portal Hypertension.	Medicine (Baltimore). 2015
273	Chiba T, Iwama A, Yokosuka O.	消化器内科	Cancer stem cells in hepatocellular carcinoma: Therapeutic implications based on stem cell biology.	Hepato Res. 2016
274	Fujiwara K, Yokosuka O, Inoue K, Yasui S, Abe R, Oda S, Arata S, Takikawa Y, Ido A, Mochida S, Tsubouchi H, Takikawa H; Intractable Hepato-Biliary Disease Study Group of Japan.	消化器内科	Distribution of core hospitals for patients with fulminant hepatitis and late onset hepatic failure in Japan.	Hepato Res. 2016
275	Tawada A, Kanda T, Yokosuka O.	消化器内科	Current and future directions for treating hepatitis B virus infection.	World J Hepatol. 2015
276	Nakamoto S, Kanda T, Shirasawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Antiviral therapies for chronic hepatitis C virus infection with cirrhosis.	World J Hepatol. 2015
277	Sasaki R, Kanda T, Nakamoto S, Haga Y, Nakamura M, Yasui S, Jiang X, Wu S, Arai M, Yokosuka O.	消化器内科	Natural interferon-beta treatment for patients with chronic hepatitis C in Japan.	World J Hepatol. 2015
278	Saito T, Chiba T, Ogasawara S, Inoue M, Wakamatsu T, Motoyama T, Kanogawa N, Suzuki E, Ooka Y, Tawada A, Matsubara H, Yokosuka O.	消化器内科	Fatal Diaphragmatic Hernia following Radiofrequency Ablation for Hepatocellular Carcinoma: A Case Report and Literature Review.	Case Rep Oncol. 2015
279	Minemura S, Tanaka T, Arai M, Okimoto K, Oyama A, Saito K, Maruoka D, Matsumura T, Nakagawa T, Katsuno T, Kishimoto T, Yokosuka O.	消化器内科	Gene expression profiling of laterally spreading tumors.	BMC Gastroenterol. 2015
280	Maruyama H, Kondo T, Kiyono S, Sekimoto T, Takahashi M, Okugawa H, Yokosuka O.	消化器内科	Relationship and interaction between serum sodium concentration and portal hemodynamics in patients with cirrhosis.	J Gastroenterol Hepatol. 2015
281	Kurosawa J, Tawada K, Mikata R, Ishihara T, Tsuyuguchi T, Saito M, Shimofusa R, Yoshitomi H, Ohtsuka M, Miyazaki M, Yokosuka O.	消化器内科	Prognostic relevance of apparent diffusion coefficient obtained by diffusion-weighted MRI in pancreatic cancer.	J Magn Reson Imaging. 2015
282	Ogasawara S, Chiba T, Ooka Y, Kanogawa N, Motoyama T, Suzuki E, Tawada A, Azemoto R, Shinozaki M, Yoshikawa M, Yokosuka O.	消化器内科	A prognostic score for patients with intermediate-stage hepatocellular carcinoma treated with transarterial chemoembolization.	PLoS One. 2015
283	Sakai Y, Tsuyuguchi T, Sugiyama H, Sasaki R, Sakamoto D, Nakamura M, Watanabe Y, Nishikawa T, Yasui S, Mikata R, Yokosuka O.	消化器内科	Endoscopic papillary large balloon dilation for bile duct stones in elderly patients.	World J Clin Cases. 2015
284	Ogasawara S, Chiba T, Ooka Y, Kanogawa N, Saito T, Motoyama T, Suzuki E, Tawada A, Kanai F, Yokosuka O.	消化器内科	Sorafenib treatment in Child-Pugh A and B patients with advanced hepatocellular carcinoma: safety, efficacy and prognostic factors.	Invest New Drugs. 2015
285	Sekimoto T, Maruyama H, Kiyono S, Kondo T, Shimada T, Takahashi M, Yokosuka O, Yamaguchi T.	消化器内科	Liver Stiffness: A Significant Relationship with the Waveform Pattern in the Hepatic Vein.	Ultrasound Med Biol. 2015
286	中世古知昭	血液内科	A phase 1/2 study of bosutinib in Japanese adults with Philadelphia chromosome-positive chronic myeloid leukemia.	Int J Hematol 2015;101(2):154-164.
287	武藤明也	血液内科	MDS/MPN with massive erythroid infiltration induced by loss of Tet2 in mice.	Leuk Lymphoma. 2015; 56(2):520-523.
288	武藤明也	血液内科	Efficacy of myeloablative allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in adult patients with MLL-ELL-positive acute myeloid leukemia.	Int J Hematol. 2015; 102(1):86-92.
289	三村尚也	血液内科	Novel therapeutic strategies for multiple myeloma.	Exp Hematol. 2015; 43(8):732-741.
290	大和田千桂子	血液内科	Serum soluble LR11, a novel tumor derived biomarker associated with the outcome of patients with diffuse large B-cell lymphoma.	Leuk Lymphoma. 2015; 56(10): 2982-2985.
291	塚本祥吉	血液内科	Successful allogeneic stem cell transplantation for severe aplastic anemia after treatment of lymphoproliferative disorder caused by rabbit antithymocyte globulin.	Int Med 2015; 54(24): 3197-3200.
292	杉田泰雅	血液内科	Early-onset severe diffuse alveolar hemorrhage after bortezomib administration suggestive of pulmonary involvement of myeloma cells.	J Clin Exp Hematop. 2015; 55(3): 163-168.
293	小川真	腎臓内科	Estimated glomerular filtration rate by serum creatinine or standardized cystatin c in Japanese patients with Graves disease	Data Brief. 2015 Nov 24;5:1092-5.
294	小川真	腎臓内科	Tovopaltan treatment for patients with decompensated cirrhosis and hepatocellular carcinoma	Hepato Res.2015 Oct;45(10):E161-2.
295	小川真	腎臓内科	Paradoxical effects of thyroid function on glomerular filtration rate estimated from serum creatinine or standardized cystatin c in patients with Japanese Graves disease	Clin Chim Acta.2015Des7;451(Pt B):316-22.

296	Nakagomi D, Suzuki K, Meguro K, Hosokawa J, Tamachi T, Takatori H, Suto A, Matsue H, Ohara O, Nakayama T, Shimada S, Nakajima H.	アレルギー・膠原病内科	Matrix metalloproteinase 12 is produced by M2 macrophages and plays important roles in the develop	J Allergy Clin Immunol. 2015;135(5):1397-400.
297	Hiraga M, Ikeda K, Shigeta K, Sato A, Yoshitama T, Hara R, Tanaka Y.	アレルギー・膠原病内科	Sonographic measurements of lowechoic synovial area in the dorsal aspect of metatarsophalangeal joint	Mod Rheumatol. 2015 May;25(3):386-92.
298	Yokoyama Y, Furuta S, Ikeda K, Hirose K, Nakajima H.	アレルギー・膠原病内科	Corticosteroid-sparing effect of tacrolimus in the initial treatment of dermatomyositis and polymyositis	Mod Rheumatol. 2015;25(6):888-92.
299	Takatori H, Kawashima H, Matsuki A, Meguro K, Tanaka S, Iwamoto T, Sanayama Y, Nishikawa N, Tamachi T, Ikeda K, Suto A, Suzuki K, Kagami S, Hirose K, Kubo M, Hori S, Nakajima H.	アレルギー・膠原病内科	Helios enhances Treg cell function in cooperation with Foxp3.	Arthritis Rheumatol. 2015;67(6):1491-502.
300	Jones RB, Furuta S (SF is a shared first author), Tervaert JW, Hauser T, Luqmani R, Morgan MD, Peh CA, Savage CO, Segelmark M, Tesar V, van Paassen P, Walsh M, Westman K, Jayne DR	アレルギー・膠原病内科	European Vasculitis Society (EUVAS). Rituximab versus cyclophosphamide in ANCA-associated renal	Ann Rheum Dis. 2015 Jun;74(6):1178-82.
301	Maezawa Y, Paltser G, Tsui H, Cheung R, Wu P, Nicholas AP, Dosch HM.	アレルギー・膠原病内科	2-Chloroacetamide, a novel immunomodulator, suppresses antigen-induced mouse airway inflammation	Allergy. 2015 Sep;70(9):1130-8.
302	Fujimoto M, Ikeda K, Nakamura T, Iwamoto T, Furuta S, Nakajima H.	アレルギー・膠原病内科	Development of mixed connective tissue disease and Sjögren's syndrome in a patient with trisomy X.	Lupus. 2015 Oct;24(11):1217-20.
303	Meguro K, Suzuki K, Hosokawa J, Sanayama Y, Tanaka S, Furuta S, Ikeda K, Takatori H, Suto A, Sakamoto A, Ohara O, Nakajima H.	アレルギー・膠原病内科	Role of Bcl-3 in the development of follicular helper T cells and in the pathogenesis of rheumatoid arthritis	Arthritis Rheumatol. 2015;67(10):2651-60.
304	Bruyn GA, Naredo E, Iagnocco A, Balint PV, Backhaus M, Gandjbakhch F, Gutierrez M, Filer A, Finzel S, Ikeda K, Kaeley GS, Manzoni SM, Ohrndorf S, Pineda C, Richards B, Roth J, Schmidt WA, Terslev L, D'Agostino MA; OMERACT Ultrasound Task Force.	アレルギー・膠原病内科	The OMERACT Ultrasound Working Group 10 Years On: Update at OMERACT 12.	J Rheumatol. 2015 Nov;42(11):2172-6.
305	Ikeda K, Narita A, Ogasawara M, Ohno S, Kawahito Y, Kawakami A, Ito H, Matsushita I, Suzuki T, Misaki K, Ogura T, Kamishima T, Seto Y, Nakahara R, Kaneko A, Nakamura T, Henmi M, Fukae J, Nishida K, Sumida T, Koike T.	アレルギー・膠原病内科	Consensus-based identification of factors related to false-positives in ultrasound scanning of synovitis	Mod Rheumatol. 2016;26(1):9-14.
306	Meguro K, Nakagomi D, Suzuki K, Hosokawa J, Fukuta T, Yokota M, Maezawa Y, Suto A, Nakajima H.	アレルギー・膠原病内科	SOCS3 expressed in M2 macrophages attenuates contact hypersensitivity by suppressing MMP12 production	J Invest Dermatol. 2016 Mar;136(3):649-57.
307	Yamagata M, Ikeda K, Tsushima K, Iesato K, Abe M, Ito T, Kashiwakuma D, Kagami S, Iwamoto I, Nakagomi D, Sugiyama T, Maruyama Y, Furuta S, David Jayne, Uno T, Tatsumi K, Nakajima H.	アレルギー・膠原病内科	Prevalence and responsiveness to treatment of lung abnormalities on chest computed tomography in patients with rheumatoid arthritis	Arthritis Rheumatol. 2016 Mar;68(3):713-23.
308	Takemoto M.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Astaxanthin Improves Nonalcoholic Fatty Liver Disease in Werner Syndrome with Diabetes Mellitus.	J Am Geriatr Soc. 63(6):1271-3, 2015
309	Hayashi A.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Pioglitazone improves fat tissue distribution and hyperglycemia in a case of cockayne syndrome with diabetes.	Diabetes Care 38(5):e76, 2015
310	Sakamoto K.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide protects glomerular podocytes from inflammatory injuries.	J Diabetes Res. 727152, 2015
311	Shoji M.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Urinary podocalyxin levels were associated with urinary albumin levels among patients with diabetes.	Biomarkers. 21(2):164-7, 2016
312	Sakuma I.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Cushing Syndrome Due to ACTH-Secreting Pheochromocytoma, Aggravated by Glucocorticoid-Driven Positive-Feedback Loop.	J Clin Endocrinol Metab. 101(3):841-6, 2016
313	Komai E.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Atorvastatin-induced dermatomyositis in a 47-year-old woman with Sjögren's syndrome.	Acta Cardiol. 70(3):373, 2015
314	Ide S.	糖尿病・代謝・内分泌内科	Improved Glycemic Control and Vascular Function and Reduction of Abdominal Fat Accumulation with Liraglutide in a Case of Werner Syndrome with Diabetes	J Am Geriatr Soc. 64(3):687-8, 2016
315	Takeshita N	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Suture Granuloma With False-Positive Findings on FDG-PET/CT Resected via Laparoscopic Surgery.	Int Surg. 2015 Apr;100(4):604-7.
316	Aoyagi T	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Cancer cachexia, mechanism and treatment.	World J Gastrointest Oncol. 2015 Apr 15;7(4):17-29.
317	Matsumoto Y	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Intraperitoneal administration of tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R inhibits disseminated human ovarian cancer and extends survival in nude mice.	Oncotarget. 2015 May 10;6(13):11369-77.
318	Hayashi H	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Development of a non-blurring, dual-imaging tissue marker for gastrointestinal tumor localization.	Surg Endosc. 2015 Jun;29(6):1445-51.
319	Ohira G	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Synthetic polyglycomer short-term absorbable sutures vs. polydioxanone long-term absorbable sutures for preventing incisional hernia and wound dehiscence after abdominal wall closure: a comparative randomized study of patients treated for gastric or colon cancer.	Surg Today. 2015 Jul;45(7):841-5.
320	Takeshita N	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Esophageal intramural pseudodiverticulosis of the residual esophagus after esophagectomy for esophageal cancer.	World J Gastroenterol. 2015 Aug 14;21(30):9223-7.

321	Akutsu Y	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Chemoradiotherapy and surgery for T4 esophageal cancer in Japan.	Surg Today. 2015 Nov;45(11):1360-5.
322	Takeshita N	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Successful resection of metachronous para-aortic, Virchow lymph node and liver metastatic recurrence of rectal cancer.	World J Gastroenterol. 2015 Nov 28;21(44):12722-8.
323	Kano M	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Adenovirus-mediated FIR demonstrated TP53-independent cell-killing effect and enhanced antitumor activity of carbon-ion beams.	Gene Ther. 2016 Jan;23(1):50-6.
324	Hoshino I	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Histone Demethylase LSD1 Inhibitors Prevent Cell Growth by Regulating Gene Expression in Esophageal Squamous Cell Carcinoma Cells.	Ann Surg Oncol. 2016 Jan;23(1):312-20.
325	Matsumoto Y	食道・胃腸外科/先端応用外科学	A case of giant ileal duplication in an adult, successfully treated with laparoscope-assisted surgery.	Surg Case Rep. 2015 Dec;1(1):10.
326	Uesato M	食道・胃腸外科/先端応用外科学	Gradual tube dilation method before percutaneous endoscopic gastrostomy for obstructive esophageal cancer.	Esophagus. 2016;13(1):68-73.
327	宮崎 勝	臓器制御外科学	Clinical practice guidelines for the management of biliary tract cancers 2015: the 2nd English edition	Journal of Hepatobiliary Pancreatic Science 2015; 22: 249-273.
328	宮崎 勝	臓器制御外科学	. Classification of biliary tract cancers established by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery: 3rd English edition.	Journal of Hepatobiliary Pancreatic Science 2015; 22: 181-196.
329	清水 宏明	臓器制御外科学	Peripheral portal vein-oriented non-dilated bile duct puncture for percutaneous transhepatic biliary drainage.	World J Gastroenterol. 2015 28;21:12628-34
330	大塚 将之	臓器制御外科学	Revision concepts and distinctive points of new Japanese classification for biliary tract cancers in comparison with the 7th edition of the UICC/AJCC staging system.	J Hepatobiliary Pncreat Sci 2015;22:197-201
331	加藤 厚	臓器制御外科学	Downsizing Chemotherapy for Initially Unresectable Locally Advanced Biliary Tract Cancer Patients Treated with Gemcitabine Plus Cisplatin Combination Therapy Followed by Radical Surgery.	Ann Surg Oncol. 2015 Dec;22 Suppl 3:S1093-9.
332	吉富 秀幸	臓器制御外科学	Updated clinical practice guidelines for the management of biliary tract cancers: revision concepts and major revised points.	J Hepatobiliary Pancreat Sci 2015;22:274-278
333	久保木 知	臓器制御外科学	Incidence, risk factors, and management options for portal vein thrombosis after hepatectomy: a 14-year, single-center experience.	Am J Surg 2015;210:878-885
334	高野 重紹	臓器制御外科学	Prrx1 isoform switching regulates pancreatic cancer invasion and metastatic colonization.	Genes Dev. 2016 Jan 15;30(2):233-47
335	野島 広之	臓器制御外科学	Hepatocyte exosomes mediate liver repair and regeneration via sphingosine-1-phosphate.	J Hepatol. 2016 Jan;64(1):60-8.
336	野島 広之	臓器制御外科学	Sphingolipids in liver injury, repair and regeneration.	Biol Chem 2015;396:633-643.
337	藤咲 薫	乳腺甲状腺外科	Cancer-mediated adipose reversion promotes cancer cell migration via IL-6 and MCP-1.	Breast Cancer Res Treat 150,255-263,2015
338	藤本浩司	乳腺甲状腺外科	Donor site selection and clinical outcomes of nipple-areola skin-sparing mastectomy with immediate autologous free flap reconstruction: A single-institution experience.	Eur J Surg Oncol 42,369-375, 2015
339	岩瀬俊明	乳腺甲状腺外科	Impact of body fat distribution on neoadjuvant chemotherapy outcomes in advanced breast cancer patients.	Cancer Med Cancer Med 5,41-48,2016
340	椎名伸充	乳腺甲状腺外科	Volumetric breast density is essential for prediction of cosmetic outcome after breast-conserving surgery.	Eur J Surg Oncol 42, 481-488,2016
341	Ozawa K, Funabashi N, Takaoka H, Kamata T, Kanaeda A, Saito M, Nomura F, Kobayashi Y.	検査部	Characteristic myocardial strain identified in hypertrophic cardiomyopathy subjects with preserved left ventricular ejection fraction using a novel multi-layer transthoracic echocardiography technique.	Int J Cardiol. 2015 Apr 1;184:237-43. doi: 10.1016/j.ijcard.2015.01.070. Epub 2015 Feb 7.
342	Tanaka N, Araki K, Mizokami D, Miyagawa Y, Yamashita T, Tomifuji M, Ueda Y, Inoue M, Matsushita K, Nomura F, Shimada H, Shiotani A.	検査部	Sendai virus-mediated gene transfer of the c-myc suppressor far-upstream element-binding protein-interacting repressor suppresses head and neck cancer.	Gene Ther. 2015 Apr;22(4):297-304. doi: 10.1038/gt.2014.123. Epub 2015 Jan 15.
343	Nomura F.	検査部	Proteome-based bacterial identification using matrix-assisted laser desorption ionization-time of flight mass spectrometry (MALDI-TOF MS): A revolutionary shift in clinical diagnostic microbiology.	Biochim Biophys Acta. 2015 Jun;1854(6):528-37. doi: 10.1016/j.bbapap.2014.10.022. Epub 2014 Nov 1. Review.
344	Sogawa K, Iida F, Kawshima Y, Yamada M, Satoh M, Sanda A, Takizawa H, Maruyama K, Wada Y, Nomura F.	検査部	Evaluation of serum carbohydrate-deficient transferrin by HPLC and MALDI-TOF MS.	Clin Chim Acta. 2015 Aug 25;448:8-12. doi: 10.1016/j.jcca.2015.06.005. Epub 2015 Jun 17.
345	Kazami T, Nie H, Satoh M, Kuga T, Matsushita K, Kawasaki N, Tomonaga T, Nomura F.	検査部	Nuclear accumulation of annexin A2 contributes to chromosomal instability by coilin-mediated centromere damage.	Oncogene. 2015 Aug 6;34(32):4177-89. doi: 10.1038/onc.2014.345. Epub 2014 Oct 27.

346	Maeda H, Sogawa K, Sakaguchi K, Abe S, Sagizaka W, Mochizuki S, Horie W, Watanabe T, Shibata Y, Satoh M, Sanda A, Nomura F, Suzuki J.	検査部	Urinary albumin and transferrin as early diagnostic markers of chronic kidney disease.	J Vet Med Sci. 2015 Aug;77(8):937-43. doi: 10.1292/jvms.14-0427.
347	Ogita M, Tsuchida S, Aoki A, Satoh M, Kado S, Sawabe M, Nanbara H, Kobayashi H, Takeuchi Y, Mizutani K, Sasaki Y, Nomura F, Izumi Y.	検査部	Increased cell proliferation and differential protein expression induced by low-level Er:YAG laser irradiation in human gingival fibroblasts: proteomic analysis.	Lasers Med Sci. 2015 Sep;30(7):1855-66. doi: 10.1007/s10103-014-1691-4. Epub 2014 Nov 28.
348	Takatani R, Minagawa M, Molinaro A, Reyes M, Kinoshita K, Takatani T, Kazukawa I, Nagatsuma M, Kashimada K, Sato K, Matsushita K, Nomura F, Shimajo N, Jöppner H.	検査部	Similar frequency of paternal uniparental disomy involving chromosome 20q (patUPD20q) in Japanese and Caucasian patients affected by sporadic pseudohypoparathyroidism type 1b (sporPHP1B).	Bone. 2015 Oct;79:15-20. doi: 10.1016/j.bone.2015.05.011.
349	Beppu M, Sawai S, Satoh M, Mori M, Kazami T, Misawa S, Shibuya K, Ishibashi M, Sogawa K, Kado S, Kodera Y, Nomura F, Kuwabara S.	検査部	Autoantibodies against vinculin in patients with chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	J Neuroimmunol. 2015 Oct 15;287:9-15. doi: 10.1016/j.jneuroim.2015.07.012. Epub 2015 Jul 29.
350	Ozawa K, Funabashi N, Takaoka H, Kamata T, Nomura F, Kobayashi Y.	検査部	Consistencies of 3D TTE global longitudinal strain of both ventricles between assessors were worse for 2D, but better for 3D ventricular EF.	Int J Cardiol. 2015 Nov 1;198:140-51. doi: 10.1016/j.ijcard.2015.06.049. Epub 2015 Jul 2.
351	Suzuki Y, Matsushita K, Seimiya M, Yoshida T, Sawabe Y, Ogawa M, Nomura F.	検査部	Estimated glomerular filtration rate by serum creatinine or standardized cystatin C in Japanese patients with Graves' disease.	Data Brief. 2015 Nov 24;5:1092-5.
352	Misawa S, Sato Y, Katayama K, Hanaoka H, Sawai S, Beppu M, Nomura F, Shibuya K, Sekiguchi Y, Iwai Y, Watanabe K, Amino H, Ohwada C, Takeuchi M, Sakaida E, Nakaseko C, Kuwabara S.	検査部	Vascular endothelial growth factor as a predictive marker for POEMS syndrome treatment response: retrospective cohort study.	BMJ Open. 2015 Nov 11;5(11):e009157.
353	Suzuki Y, Matsushita K, Seimiya M, Yoshida T, Sawabe Y, Ogawa M, Nomura F.	検査部	Paradoxical effects of thyroid function on glomerular filtration rate estimated from serum creatinine or standardized cystatin C in patients with Japanese Graves' disease.	Clin Chim Acta. 2015 Dec 7;451(Pt B):316-22.
354	Sachio Tsuchida, Mamoru Satoh, Masaki Takiwaki, Michiru Wakabayashi, Takayuki Ishige, Minako Beppu, Motoi Nishimura, Kazuyuki Matsushita, Fumio Nomura	検査部	Detection of Ubiquitinated Dermcidin in Gingival Crevicular Fluid in Periodontal Disease	International Journal of Peptide Research and Therapeutics June 2016, Volume 22, Issue 2, pp 249-253
355	Kano M, Matsushita K, Rahmutulla B, Yamada S, Shimada H, Kubo S, Hiwasa T, Matsubara H, Nomura F.	検査部	Exogenous expression of FIR demonstrated TP53-independent cell-killing effect and enhanced anti-tumor activity of carbon-ion beams.	Gene Ther. 2016 Jan;23(1):50-6.
356	Oshima Y, Shimada H, Yajima S, Nanami T, Matsushita K, Nomura F, Kainuma O, Takiguchi N, Soda H, Ueda T, Iizasa T, Yamamoto N, Yamamoto H, Nagata M, Yokoi S, Tagawa M, Ohtsuka S, Kuwajima A, Murakami A, Kaneko H.	検査部	Erratum to: NY-ESO-1 autoantibody as a tumor-specific biomarker for esophageal cancer: screening in 1969 patients with various cancers.	Gastroenterol. 2016 Jan;51(1):83. doi: 10.1007/s00535-015-1089-5. PubMed PMID: 25975770
357	Oshima Y, Shimada H, Yajima S, Nanami T, Matsushita K, Nomura F, Kainuma O, Takiguchi N, Soda H, Ueda T, Iizasa T, Yamamoto N, Yamamoto H, Nagata M, Yokoi S, Tagawa M, Ohtsuka S, Kuwajima A, Murakami A, Kaneko H.	検査部	NY-ESO-1 autoantibody as a tumor-specific biomarker for esophageal cancer: screening in 1969 patients with various cancers.	J Gastroenterol. 2016 Jan;51(1):30-4. doi: 10.1007/s00535-015-1078-8.
358	Ishige T, Nishimura M, Satoh M, Fujimoto M, Fukuyo M, Semba T, Kado S, Tsuchida S, Sawai S, Matsushita K, Togawa A, Matsubara H, Kaneda A, Nomura F.	検査部	Combined Secretomics and Transcriptomics Revealed Cancer-Derived GDF15 is Involved in Diffuse-Type Gastric Cancer Progression and Fibroblast Activation.	Sci Rep. 2016 Feb 19;6:21681. doi: 10.1038/srep21681.
359	Ariyoshi N	薬剤部	Pharmacogenetic-guided algorithms to estimate personalized dose or individual responses to anti-thrombotic drugs.	Personalized Medicine Universe 4:13-22(2015)
360	Hamada Y	薬剤部	Pharmaceutical studies of levothyroxine sodium hydrate suppository provided as a hospital preparation.	Biol Pharm Bull 38:625-628(2015)
361	Fujisaki K, Fujimoto H, Sangai T, Nagashima T, Sakakibara M, Shiina N, Kuroda M, Aoyagi Y, Miyazaki M.	乳腺外科/ 未来開拓センター	Cancer-mediated adipose reversion promotes cancer cell migration via IL-6 and MCP-1.	Breast Cancer Res Treat. 2015 Apr;150(2):255-263. doi: 10.1007/s10549-015-3318-2.
362	Adachi N, Kubota Y, Kosaka K, Akita S, Sasahara Y, Kira T, Kuroda M, Mitsukawa N, Bujo H, Satoh K.	形成外科/ 未来開拓センター	Low-dose radiation pretreatment improves survival of human ceiling culture-derived proliferative adipocytes (ccDPAs) under hypoxia via HIF-1 alpha and MMP-2 induction.	Biochem Biophys Res Commun. 2015 Aug 7;463(4):1176-1183. doi: 10.1016/j.bbrc.2015.06.079.
363	青柳 玲子	臨床試験部	Study protocol for a phase III multicentre, randomised, open-label, blinded-end point trial to evaluate the efficacy and safety of immunoglobulin plus cyclosporin A in patients with severe Kawasaki disease(KAICA Trial)	BMJ Open. 2015 Dec 1;5(12):e009562

小計18

合計363

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	佐塚 哲太郎	食道・胃腸外科/先端応用外科学	腹腔鏡を用いた安全な人工肛門閉鎖術の考案	千葉医学雑誌 91巻2号 Page53-57
2	大平 学	食道・胃腸外科/先端応用外科学	【絞扼性腸閉塞の診断と治療】絞扼性イレウスに対するMDCTを用いた腸管虚血評価	日本腹部救急医学会雑誌 35巻4号 Page397-402
3	大平 学	食道・胃腸外科/先端応用外科学	同時性切除不能肝転移を有する大腸癌に対する周術期ステロイド投与の効果	癌と化学療法 42巻12号 Page1515-1517
4	成島 一夫	食道・胃腸外科/先端応用外科学	シミュレーションCT Colonographyを用いた下腸間膜動静脈温腹腔鏡補助下S状結腸切除術	癌と化学療法 42巻12号 Page2136-2138
5	佐塚 哲太郎	食道・胃腸外科/先端応用外科学	放射線療法による局所制御が症状緩和に有効であった悪性葉状腫瘍の1例	癌と化学療法 42巻12号 Page1698-1699
6	佐塚 哲太郎	食道・胃腸外科/先端応用外科学	直腸原発リンパ上皮腫様癌の1切除例	千葉医学雑誌 91巻3号 Page107-112
7	水藤 広	食道・胃腸外科/先端応用外科学	外傷性脾仮性嚢胞による食道狭窄が疑われた1例	千葉医学雑誌 91巻2号 Page71-75
8	佐塚 哲太郎	食道・胃腸外科/先端応用外科学	腎癌多発転移に対して脾頭十二指腸切除および腫瘍核出術を施行した1例	千葉医学雑誌 91巻2号 Page65-70
9	水藤 広	食道・胃腸外科/先端応用外科学	術後11年で肝再発をきたした十二指腸GISTの1例	日本臨床外科学会雑誌 76巻4号 Page768-773
10	藏田 能裕	食道・胃腸外科/先端応用外科学	後腹膜血腫で発症したSegmental arterial mediolysisの1例	日本腹部救急医学会雑誌 36巻1号 Page107-110
11	成島一夫	食道・胃腸外科/先端応用外科学	当科における早期大腸癌症例の検討	日本大腸肛門病学会雑誌 2015;68(5):347.
12	成島一夫	食道・胃腸外科/先端応用外科学	当院における進行大腸癌の腹腔鏡下の現況との開腹手術	日本大腸肛門病学会雑誌 2015;68 (6):459.
13	武藤頼彦	食道・胃腸外科/先端応用外科学	当科における早期大腸癌の内視鏡治療成績	日本大腸肛門病学会雑誌 2015;68(6):471.

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 6 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントポリシー、利益相反ガイドライン	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 6 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	7
・ 研修の主な内容 ・ 臨床研究系統講義 入門・応用（倫理規範・海外の法令・国際ガイドラインについて、臨床試験の倫理及び利益相反） ・ 千葉大学医学部附属病院が実施した臨床研究「VART study」に関する事案と現状とその対策について（特別セミナー 3回）	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(目的と特徴)
● 初期研修を修了した医師・歯科医師が臨床医学系専門領域の学会認定専門医を取得する
● 2年間の卒後研修を含む新しい枠組みでの学会認定専門医を取得できるプログラム
● 内科、外科の場合は内科認定医・認定内科専門医、外科専門医を取得できると共に、さらにサブスペシャリティーの専門医を取得できるプログラム
(研修期間)
● 研修期間は3～5年（卒後研修：2年を含まない）原則として各専門領域の学会専門医取得に定められた期間
(到達目標)
● 専門医としての患者ケアのための臨床能力を身につける
● 専門医としての患者ケアのための知識の習得と応用が出来る
● 診療経験を振り返り臨床能力を向上させることが出来る
● 必要かつ十分なコミュニケーション能力を示すことが出来る
● 医師としてのプロフェッショナリズムを身につける
● 家族・地域・制度などの医療資源を理解し活用することが出来る
● 指導医としての教育的役割を果たすことが出来る
● 臨床研究の意義を理解し倫理原則にしたがって研究を行うことが出来る

2 研修の実績

研修医の人数	91	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
露口 利夫	消化器内科	副科長（講師）	31年	
中世古 知昭	血液内科	科長（診療教授）	27年	
李 記璋	腎臓内科	（助教）	12年	
中島 裕史	アレルギー・膠原病内科	科長（教授）	27年	
横手 幸太郎	糖尿病・代謝・内分泌内科	科長（教授）	27年	
小林 欣夫	循環器内科	科長（教授）	27年	
小林 欣夫	冠動脈疾患治療部	部長（教授）	27年	
巽 浩一郎	呼吸器内科	科長（教授）	36年	
桑原 聡	神経内科	科長（教授）	31年	
生坂 政臣	総合診療科	科長（教授）	30年	
並木 隆雄	和漢診療科	科長（診療教授）	30年	
猪狩 英俊	感染症内科	科長（准教授）	27年	
松宮 護郎	心臓血管外科	科長（教授）	29年	
松原 久裕	食道・胃腸外科	科長（教授）	31年	
清水 宏明	肝胆膵外科	副科長（准教授）	29年	
長嶋 健	乳腺・甲状腺外科	科長（准教授）	27年	

吉野 一郎	呼吸器外科	科長 (教授)	28年	
吉田 英生	小児外科	科長 (教授)	37年	
瀧口 裕一	臨床腫瘍部	部長 (教授)	32年	
磯野 史朗	麻酔・疼痛・緩和 医療科	科長 (教授)	31年	
市川 智彦	泌尿器科	科長 (教授)	28年	
大鳥 精司	整形外科	副科長 (准教授)	21年	
山本 修一	眼科	科長 (教授)	32年	
松江 弘之	皮膚科	科長 (教授)	28年	
岡本 美孝	耳鼻咽喉・頭頸部 外科	科長 (教授)	36年	
三川 信之	形成・美容外科	副科長 (准教授)	24年	
伊豫 雅臣	精神神経科	科長 (教授)	31年	
岩立 康男	脳神経外科	副科長 (准教授)	32年	
生水 真紀夫	婦人科・周産期母 性科	科長 (教授)	34年	
下条 直樹	小児科	科長 (教授)	36年	
宇野 隆	放射線科	科長 (教授)	27年	
織田 成人	救急科・集中治療 部	科長 (教授)	37年	
織田 成人	人工腎臓部	部長 (教授)	37年	
村田 淳	リハビリテーシ ョン科	部長 (診療教授)	29年	
伊豫 雅臣	こどものこころ 診療部	部長 (教授)	31年	
松下 一之	検査部	部長 (准教授)	32年	
中谷 行雄	病理診断科・病理部	部長 (教授)	37年	
露口 利夫	光学医療診療部	副部長 (講師)	31年	
丹沢 秀樹	歯科・顎・口腔外 科	科長 (教授)	30年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【病棟患者急変対応セミナー】

・研修の主な内容

医師1～2名（例：指導医、研修医）、看護師2～3名（例：熟練、中堅、新人看護師）、他職種でチームを形成し、1～2チームがあらかじめ作成したシナリオ（1～2種類※）にもとづいてシミュレーション実習を行う。シミュレーターはSimMan 3G、SimBaby、HPSを用いる。シナリオ内容は作成者およびセミナー管理者にのみ知らされ、実習参加者はシナリオの内容を知らずに急変対応を行っていく。実習の様子はビデオモニターで撮影・記録され、上記チーム以外の参加者はその映像をリアルタイムで観察する。実習終了後、記録ビデオを参考にしながら、全参加者でデブリーフィング(振り返り)を行う。

・研修の期間・実施回数

4回／年

・研修の参加人数

約60名／回

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

「入職者研修」 病院、看護部の理念と方針、人事・労務管理、就業規則、看護補助業務、医療機器・機材の管理

「新任副看護師長研修」 看護管理者のための労務管理基本セミナー～実践に活かす労務管理のポイント

「新任看護師長研修」 病院・看護部組織について、人事・労務管理、人事評価と目標管理  
看護業務・看護補助業務の理解と業務の進め方、人材育成、人材確保、部署の看護管理に活かすため、他部署・他部門、他施設での見学研修、看護管理者のための労務管理基本セミナー～実践に活かす労務管理のポイント

「看護師長研修」 看護管理者のための労務管理基本セミナー～実践に活かす労務管理のポイント～、労務管理の実際

・研修の期間・実施回数

「入職者研修」平成27年4月2日・1回

「新任副看護師長研修」平成27年7月～10月・1回

「新任看護師長研修」平成27年4月～9月・5回

「看護師長研修」平成27年10月30日、平成28年2月13日・2回

・研修の参加人数

「入職者研修」162名

「新任副看護師長研修」8名

「新任看護師長研修」4名

「看護師長研修」30名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 山本 修一	
管理担当者氏名	企画情報部長 鈴木 隆弘 医療安全管理部長 相馬 孝博 臨床工学センター長 織田 成人 医事課長 高橋 忠浩	薬剤部長 石井 伊都子 感染制御部長 猪狩 英俊 総務課長 星 幹崇 医療サービス課長 田辺 朗

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	企画情報部及び医療サービス課
		看護記録	企画情報部及び医療サービス課
		検査所見記録	企画情報部及び医療サービス課
		エックス線写真	企画情報部及び医療サービス課
		紹介状	企画情報部及び医療サービス課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課及び医療サービス課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課
		高度の医療の研修の実績	総務課
	規則第一條の十一項に掲げる事項	閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課及び医療サービス課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課及び薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部 医療安全課

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療安全課	管理担当者は、病院の管理及び運営に関する諸記録について、所管部門の施錠可能な場所（キャビネット等）で保管・管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部及び医療安全課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療安全課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部及び医療安全課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター管理課	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター管理課			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課、医療安全課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療サービス課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全課
		監査委員会の設置状況 ※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部 医療安全課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課 医療安全管理部 医療安全課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
職員研修の実施状況	医療安全課		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 ※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 山本 修一		
閲覧担当者氏名	総務課長 星 幹崇	管理課長 進藤 光	
	経営企画課長 岡田 裕二	医事課長 高橋 忠浩	
	医療サービス課長 田辺 朗	医療安全課長 伊藤 幹雄	
閲覧の求めに応じる場所	会議室		
閲覧の手続の概要 閲覧を求める者は、国立大学法人千葉大学法人文書管理規則に基づき企画総務部総務課に閲覧申請を行い、その許可が得られた場合、閲覧担当者が附属病院会議室において求めに応じる。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>本院における安全管理に関する基本的な考え方 医療の質・安全管理委員会その他の当院の組織に関する基本的事項 全職員に対する医療に係る安全管理のための研修に関する基本方針 本院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 ( 有・無 )</p> <p>・ 開催状況：年 1 1 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>安全管理体制の整備、安全管理のためのマニュアル整備 インシデントからの改善のための方策の検討 医療安全に関する教育及び職員研修の実施 院内における医療安全への取組みへの啓蒙</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医療事故防止セミナー ( 3 回 ) 急変対応セミナー ( 4 回 )</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>ゼネラルリスクマネージャーが部署へ出向き、インシデント分析の指導・研修を行っている。 看護補助者を対象に、危険予知トレーニング・POAM分析などの研修を実施している。 インシデント事例に基づき、改善状況を院内ラウンドで確認している。 各部署での医療安全対策についての取組みを「ベストプラクティス」として募集し、優秀な取組みに対して表彰を行っている。</p>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的考え方 感染管理委員会、その他の当院の組織に関する基本的事項 全職員に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 院内感染発生時の対応に関する基本方針 患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針 その他の本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<p>・ 活動の主な内容： 病原菌報告（MRSA、緑膿菌、クロストリジウム・ディフィシルの分離状況と対策）について 職業感染対策（針刺し・切創、血液・体液曝露報告、職員ワクチン接種プログラム等）について 多剤耐性菌・病原体別対策（個別事例に対する対策等）について インフルエンザ対策（予防接種、流行期の患者・職員の対応等）について 院内感染対策の指針、院内感染予防対策マニュアル等の改訂について 院内感染予防対策に関する研修について その他感染に関する事項の検討、決定</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容： 標準予防策の重要点 多剤耐性菌とその対応について インフルエンザについて CREアウトブレイクについて 改善支援での指摘事項を踏まえて皆さんにお伝えしたいこと</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： I C T ラウンド（週1回）と報告 ○診療コンサルテーション報告 ○分離菌報告 ○特定薬剤使用状況報告 ○抗菌薬ラウンド I C N・事務職員・清掃業者による環境清掃ラウンド（月2回）と報告 M R S A・M D R P・C R E を対象とした I C T 月間ラウンド（月1回）と報告 職業感染対策 ○針刺し・切創、血液・体液曝露外来の実施 ○職員の抗体検査と予防接種の実施 医療関連感染サーベイランスの実施とフィードバック ○カテーテル関連血流感染（血液内科、小児科、小児外科） ○手術部位感染（肝胆膵外科、食道・胃腸外科） 病院職員・外部委託業者に対するワクチン接種 感染防止対策の地域連携に関する活動 ○相互チェック ○カンファレンス</p>	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る  
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容： 注射薬について —注射薬の特徴と取り扱い上の注意点— (兼：看護部新採用者早期研修) 抗がん薬の取扱いについて (兼：研修医ガイダンス) 術前休止薬の運用について (兼：医療事故防止セミナー) 造影剤に関する知識 (兼：造影剤投与に関する安全講習会)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( (有)・無 ) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用を審議する薬事委員会の開催及び適正運用の実施 医薬品の購入および麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、厳重管理薬、特定生物由来製品等の適正 管理の実施 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止対策、薬剤管理指導等の実施 医薬品情報の収集および提供の実施 各部門における手順書に基づいた業務実施状況の確認 等	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その 他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( (有)・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 未承認医薬品については臨床倫理審査委員会にて承認が得られたもののみを使用するルール をとり、当該委員会で審議するための必要情報を収集するなどの対応をしている。 院内製剤についても、日本病院薬剤師会の指針に則りクラス分類を導入し、クラスに応じた審 査を取り入れている。また、使用後の評価も徹底する運用としている。 その他、医薬品の安全使用に係る医薬品情報は医薬品の安全使用のための措置に係る実施担当 者(医薬品情報室長)から医薬品安全管理責任者への報告を行い、医薬品安全管理責任者から 院内への周知を行っている。	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 22 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 人工呼吸器・輸液・シリンジポンプ・閉鎖式保育器・血液浄化装置・人工心肺及び補助循環装置・除細動器等、年18回 診療用高エネルギー放射線発生装置（リニアック）の安全講習会（年2回） 診療用放射線照射装置（アフターローディング）の安全講習会（年2回）</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る計画の策定 （有・無）</li><li>保守点検の主な内容： 診療用高エネルギー放射線発生装置（リニアック）、診療用放射線照射装置（アフターローディング）、生命維持管理装置（人工心肺および補助循環装置・人工呼吸器・血液浄化装置・徐細動器・閉鎖式保育器）  当院で定めた機器（CT・MRI・血管造影装置・核医学診断装置、輸液・シリンジポンプ・フットポンプ・生体情報モニター等）</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無）</li><li>その他の改善のための方策の主な内容：  機器管理を主たる業務とする臨床工学技士を配置し、院内の安全管理部員を兼任とすることで、院内で起こった医療機器に関するインシデント等に早急に対応、安全管理部との共同配信文書として院内へ配信することができている。 また、全体で行う院内講習会のほか、インシデント発生等の際には原因を究明し、部署別・事例別の講習会を開催し、再発防止に努めている。</li></ul>	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>附属病院規程に病院長が副病院長のうちから医療安全管理責任者を任命することを明記した。 また、医療安全管理に関する基本方針に、医療安全管理責任者が医療安全管理部、医療の質・安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等を統括することを明記している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 (11名) <input type="radio"/> 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に関する安全管理規程に、医薬品安全管理責任者が実施担当者を指名して業務を行わせることを明記している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品に関する安全管理規程に、医薬品安全管理責任者が実施担当者を指名して業務を行わせることを明記している。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/> (有) <input type="radio"/> (無)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input checked="" type="radio"/> (有) <input type="radio"/> (無)</p> <p>・規程の主な内容： 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する事項 (医療行為等の説明に関する責任者、説明内容、同席者)</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・活動の主な内容：診療情報管理責任者に関する取扱要項を新たに制定し、診療録等の管理に関する責任者を配置した。(H28.10.1) 具体的には以下のとおりである。</p> <p>・病院長は診療情報管理責任者を任命し、本院における診療情報の管理に関する事務を総括させることとした。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（３）名、専任（２）名、兼任（２１）名  うち医師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（１２）名  うち薬剤師：専従（０）名、専任（２）名、兼任（１）名  うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（２）名  うち臨床検査技師等コメディカル及び事務職員  専従（０）名、専任（０）名、兼任（６）名</p> <p>・活動の主な内容：  医療安全ラウンドの実施  全職員に対する医療安全に係る教育・研修の企画、実施  医療安全管理に係る規程、マニュアルの整備  全死亡報告事例の検証など</p> <p>専任の医療に係る安全管理を行う者２名については薬剤師の資格を有しており、医療安全に関する必要な研修を修了している（１名については平成２８年１２月に修了予定）。また、医療安全管理部の部員及び医療の質・安全管理委員会の委員として構成員に含まれており、医療安全対策の推進に関する業務に専ら従事している。（経過措置の適用により、様式８「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について18.」を参照。）</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・規程の主な内容：  高難度新規医療技術を用いた医療行為の取扱いについて必要な事項（申請手続、実施後の報告等）  高難度新規医療技術担当部門の組織及び運営に関し必要な事項（業務内容、組織、遵守状況の確認等）</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）</p>	

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・規程の主な内容：  
未承認新規医薬品等を用いた医療行為の取扱いについて必要な事項（申請手続、実施後の報告等）  
未承認新規医薬品等担当部門の組織及び運営に関し必要な事項（業務内容、組織、遵守状況の確認等）
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況 有・無

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

- ・監査委員会の開催状況：年 回
- ・活動の主な内容：
- ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）
- ・委員名簿の公表の有無（有・無）
- ・委員の選定理由の公表の有無（有・無）
- ・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
  3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 292 件（平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月）

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 54 件

・医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療安全管理に係る規程及びメディカルリスクマネジメントマニュアルの改訂の承認

インシデントからの改善策の立案及び職員への周知

医療事故防止セミナーの実施

入院患者の死亡事例の報告状況の確認及び確認結果の病院長への報告

インシデントレポート件数の報告

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ）・無）

・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ）・無）

・技術的助言の実施状況

立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。

今後、厚生労働省から示される立入り、受入れの方法及び内容を参考に来年度から行う予定。（経過措置の適用により、様式 8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について 14.」を参照。）

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談窓口で受付を行い、医療安全管理に関する相談内容の場合は医療安全管理部に報告を受けている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）

・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有・無）

・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

医療事故防止セミナー（3回）

急変対応セミナー（4回）

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

※経過措置の適用により、様式8「医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について」を参照

・研修の実施状況

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期  (財) 日本医療機能評価機構、平成24年4月23日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要  病院のホームページ、広報紙及びパンフレット等において、特定機能病院としての機能を説明するとともに、各診療科の診療実績を公表する等、地域に向けた情報発信を積極的に行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要	

(様式第8)

千大財第 号  
平成28年 月 日

厚生労働大臣

殿

国立大学法人千葉大学長  
徳久剛史 (印)

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

28年8月1日付けで千葉大学医学部附属病院規程(第6条第6項)に「病院長は、副病院長のうちから、医療安全管理責任者を任命する。」ことを明記。

医療安全管理責任者の責務等について規程改正中。28年10月1日施行予定。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

関係規程及び医薬品業務手順書を改正中。28年10月1日施行予定。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

医療行為等の説明に関する責任者の配置について新たに規程を制定する。

28年10月1日施行予定。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

医療行為等の説明の実施に必要な方法について、新たに規程を制定する。

28年10月1日施行予定。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

診療情報管理規程を新たに制定し、診療録等の管理に関する責任者を配置。

28年10月1日施行予定。

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

全死亡事例の報告については、27年7月28日付けで整備済み。  
管理者が定める水準以上の事象の報告については、16年4月1日に規程を作成し、28年2月1日に最新改正を行っており整備済み。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

国立大学法人千葉大学公益通報者保護規程に基づき、監査室に設置済みの公益通報窓口を利用。(28年9月2日従業者へ再周知済み。)

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業者の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

モニタリング項目として肺血栓塞栓症予防対策を使用し、部門システムからのデータの二次利用を検討中。29年4月1日開始予定。  
研修受講状況のモニタリングについては、eラーニングでのテストを実施している。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

医療法施行規則第9条の23第1項第7号イの規定に基づき、当該高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置(29年4月1日)予定。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

医療法施行規則第9条の23第1項第7号ロの規定に基づき、高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程及び従業者が遵守すべき事項を定めた規程を作成中。  
29年4月1日施行予定。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための  
予定措置

医療法施行規則第9条の23第1項第8号イの規定に基づき、当該未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置（29年4月1日）予定。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を  
定めた規程を作成するための予定措置

医療法施行規則第9条の23第1項第8号ロの規定に基づき、未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程及び従業者が遵守すべき事項を定めた規程を作成中。

29年4月1日施行予定。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

28年9月27日開催の役員会で審議し、28年10月1日付けで設置予定。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための  
予定措置

立入り、受入れの方法や内容については、厚生労働省から示されると説明を受けているが、現在のところまだ示されていない。

今後、厚生労働省から示される立入り、受入れの方法及び内容を参考に来年度から行う予定。

15. 職員研修を実施するための予定措置

平成29年6月5日から6月8日の間で「平成29年度第1回医療事故防止セミナー」を予定しており、医療法施行規則第9条の23第1項第14号に掲げられている内容について解説を行う。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修(今後検討予定)に来年度から参加させる予定。

17. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（3）名、専任（0）名、兼任（20）名  
うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（11）名  
うち薬剤師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（2）名  
うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（2）名  
うち臨床検査技師等コメディカル及び事務職員  
専従（0）名、専任（0）名、兼任（5）名

28年10月1日からは

・所属職員：専従（3）名、専任（2）名、兼任（21）名  
うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（12）名  
うち薬剤師：専従（0）名、専任（2）名、兼任（1）名  
うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（2）名  
うち臨床検査技師等コメディカル及び事務職員  
専従（0）名、専任（0）名、兼任（6）名  
の合計26名となる予定。

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

28年10月1日からは、5割以上医療安全管理業務に従事する薬剤師2名を配置し、32年4月1日からは専従の薬剤師1名を配置する予定。